

擺	電	筆	邊	不	不	不	不	票	飯	坡	藥	
子	下	去	來	溜								
すそ(衣服の)	ひようが降ること	書き出す、書き始める	下の方、下部	下りられざる	下りてゆけぬ、相濟まぬ、申譯なき	下りて来られぬ	手形を出す、令狀を發する	飯の茶、おかず	的。墮落したる	藥をくれる、藥をあてがふ		

游	餘	落	聯	了	夏	正	月	曆	水	吓	嚇
游	餘	落	聯	了	夏	正	月	曆	水	吓	嚇
下流(水の)	餘り、剩餘、殘餘	行衛、おちつき先	對句の下の句	啦。泥水へ落る(女が)	なつ、夏	舊曆	六月の異名	舊曆	おどす、おどろかす、おどろく、びつくりすること	同上	同上

死	醒	喝	黃	病	跑	了	話	消	氣	腫	
了	了	了	了	了	了	了	了	了	了	了	
死ぬ程に驚くこと	びつくりして目をさます	おどかす、おどろかす	驚いて色が變つた	びつくりして病氣になること	おどかす、逃がす	おどかす、逃がす	跳ぶこと	虚言、うそ、出たら目	消す、消化する、ひく	氣をおちつける	はれがひく(腫物の)

停	肉	案	數	差	場	路	削	皮		
停	肉	案	數	差	場	路	削	皮		
おちつくこと	腐りたる肉	消す、消と通用する場合多し	事件の結了する、事件を取消すこと	賣行數、捌ける數	復命する、任務を了へる	はけ口、消費地、販路	とろかす、溶解する	販路(商品の)	削る、むく、とる	皮をむく

(シイア夏、吓、嚇、詳(シイア消、銷、削)

硝 <small>シイアオ</small>	硝石	硝酸	皮をなめす(各種の獸皮を)
強 <small>ヂイア</small>	硝石	硝石	天、そら
皮 <small>ホク</small>	硝石	天、そら	賊、小人
漢 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	勇氣の壯んなる
小 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	逍遙すること
騫 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	氣樂に遊び居ること
道 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	同上
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	安樂椅子
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	
遙 <small>シイアオ</small>	硝石	天、そら	

梟 <small>シイアオ</small>	首をさらすこと
梟 <small>シイアオ</small>	空腹になること
腹 <small>フ</small>	空腹になる、ひもじき
薄 <small>ハク</small>	稀薄なる、うすぎ
蕭 <small>シイアオ</small>	しめやかなる、さびしき
索 <small>ソク</small>	さびしき、不景氣なる
閑 <small>シイアオ</small>	不景氣なる、さびしくしづかなる
乖 <small>シイアオ</small>	學ぶ、稽古する、又音(シユエ)
學 <small>シイアオ</small>	惡事を働く、惡事をおぼへる
説 <small>シヨク</small>	言はれた通りに話す
生 <small>シヨク</small>	商賈を見習ふこと
生 <small>シヨク</small>	
生 <small>シヨク</small>	
生 <small>シヨク</small>	
生 <small>シヨク</small>	
生 <small>シヨク</small>	
生 <small>シヨク</small>	

手 <small>シウ</small>	手わざを習ふこと
得 <small>トク</small>	習はるゝ、おぼえらるゝ
成 <small>シウ</small>	習つてしまつた、學び了りたり、修得せり
不 <small>フ</small>	學ばれぬ、習つても成效の見込なき
會 <small>ホク</small>	學びて會得したる
小 <small>シイアオ</small>	小さき、少なき、若き
兒 <small>アル</small>	小供の教師、餓鬼大將
看 <small>カン</small>	人を見くだす、輕蔑して人を見ること
口 <small>コウ</small>	獸類の年少なるをいふ
恭 <small>コウ</small>	小便のこと、小用
可 <small>カ</small>	私、僕、やつがれ

工 <small>コウ</small>	手傳人夫、雜役夫
衫 <small>シヤン</small>	肌褌袴、しやつゝの類
生 <small>シヨク</small>	流産すること
手 <small>シヨク</small>	吝嗇なる、けち臭きこと
叔 <small>シユク</small>	夫の弟、小じうと
厮 <small>シツ</small>	小もの、召使人など
心 <small>シン</small>	注意する、氣をつけること
性 <small>シヨク</small>	小心なる
星 <small>シヨク</small>	羨、めかけ
要 <small>シヨク</small>	ふざける、なぶる
史 <small>シ</small>	傳記、經歷

响シヤウ 吉林省の土地測量尺（一畝百八十八弓）
 旦タン 役者の一種
 器キ 景筒の狭き人
 産サン 流産すること
 氣キ 賤しき性質
 姐ジエ 姫、嬢、上流の娘をいふ
 价ヂエ 小もの、召使、僕
 金キン 美人の形容
 丑チウ 小兒役芝居役者の一種
 畜チウ 人を罵るに用ふ 悪口
 曲チウ 俗歌、小唄

處チュ 下品なる處
 的ヂク 私（上長に對して用ふ）
 點ヂエツ 極めて小さきこと
 患ヱン 人を罵るに用ふる悪口
 子ツ 男の小兒
 祖ツ 兒ル 後つぎの小兒
 走ツ 私、下拙
 皆ツ 眼尻、めじり
 帖ヂエ 生年月を認めたる書付
 偷チウ 兒ル すり、小盗人
 腿ツ こむら（足の）

班パン 藝者屋、一等妓樓
 不フ 的ヂク 極めて小さきことをいふ
 呢ニ 毛織物、セルなどの稱
 娘ニヤウ 愚妻 謙稱
 女ニョ 妾、又は自分の妻をいふ
 擺パイ 兒ル 床の置物、飾物
 婆パ 妾、又自分の妻をいふ
 費フイ 手数料
 報バウ 小形の言文 致新聞紙
 慧ホイ 猪口方、こさかしき
 偏ピエ 妾、めかけ

白バイ 美少年のこと
 買マイ 小商人、又人を罵る語
 毛マウ こそく 泥棒、小賊
 米ミ 粟アハ（あわ）
 米ミ 粟アハがら（粟稈）
 名ミン 出生後父母の與ふる名
 摸モ すり、小賊、かつさらひ
 押ヤ 小さな質店
 月ユエ 流産、月足らずの小兒
 爐ル 鑄かけ屋主として町廻りの
 路ル 盜品、不正品
 貨カ

掠 ^{リユエ}	曉 ^{シイアオ}	事 ^シ	得 ^ド	孝 ^{シイアオ}	衣 ^イ	敬 ^ヂ	服 ^フ	笑 ^{シイ}	哈 ^ハ	嘻 ^{シイ}
(総)										
すり(拘)	わかる、あかるき、通曉すること	事に通ずること	わかりたり、承知しましたといふ語	孝行、又喪服	喪服	贈物などするに用ふる語	喪服を着ける	わらふ、嘲る、侮る	くすくすと笑ふ	大笑する、アハ、と笑ふこと
話 ^{カワ}	面 ^{ミエ}	容 ^リ	臉 ^リ	效 ^{シイアオ}	肖 ^{シイアオ}	子 ^ツ	校 ^{シイアオ}	尉 ^ウ	兒 ^ル	嘯 ^{シイアオ}
人 ^ジ	虎 ^ホ			(驗)				官 ^ウ		
人を笑ふ、人を嘲る	笑顔よく腹黒き者のこと	笑顔、えがほ	同上	效能、效驗、しるし	似たること	よき子、柔順なる子	學校、又音(チイアオ)	佐官と尉官(武官の)	傀儡、口笛	

相 ^{シイアン}	宜 ^イ	爺 ^ニ	應 ^イ	看 ^カ	于 ^カ	公 ^コ	聲 ^シ	手 ^シ	商 ^シ	知 ^チ
相互、相貌、宰相、又去聲	適當なる、適合する	宰相、大臣	當然：すべきものとの意	見あひする、互に見る	關係する、かゝりあふ	宰相、文官、又男色(かげま)	こはいろ、聲のまねする	手相を見ること	相談する、相はかる	なじみ、相識の間柄
家 ^カ	次 ^ジ	好 ^コ	面 ^ミ	貌 ^ボ	與 ^ユ	廂 ^シ	房 ^フ	箱 ^シ	香 ^カ	案 ^ア
兒 ^ル				的 ^テ				(子)		
博徒	相つぐ、ついて	仲のよき、親密なる	人相を見る者	顔付、ようす、かほ(たち)	共にする、相共にする、一しよに、ともに	側屋、外廊	傍側に建てたる建物	はこ(大なる)	香、にほひ	香机(神佛の前に供ふるもの)

(シイアオ) 曉、孝、笑、效、肖、校、嘯 (シイアン) 相、廂、箱、香

瓜	聞	球	几	蕉	錢	資	甜	牛	圓	絡
西瓜種に香氣を附したるもの	婦人室	匂ひ袋	香机(神前又は佛前の)	バナ、	賽錢 神佛に參詣する時の)	同上	あまき、甘美なる	なめし皮(牛皮の上品)	佛手柑のこと	婦人用の小さき匂ひ袋

郷	紳	下	下	學	親	宦	勇	鑲	眼	
郷里、田舎、市街地以外のこ	同郷の知人をいふ	地方の紳士、田舎の名望家	いなか、農村、在所	田舎者、田舎おやち	村塾、村落の塾	郷黨、同郷人	官吏の後裔などの其郷里に住めるもの	田舎の義勇兵	へりをとる、象嵌する	入目(いれめ)

嵌	邊	牙	詳	文	報	明	序	降	祥	想	
象嵌する、へりをとる	へりをとること、ふちをつけ	入齒する、義齒	詳細なる、詳かなる	官衙に用ふる往復文の一種	詳細なる報告、詳文にて報告する	詳しく明らかなる、詳文にて明らかにする	學校(昔の)	くだる、くだす、又音(チイ	アン去聲	吉祥の瑞兆、めでたきしるし	思ふ、考ふる、慕ふ

思	死	許	起	不	必	法	不	不	頭	歪
戀の病、思ひわづらひ	戀死、焦れ死する、死ぬ程戀しがる	或は、思ふに、恐らくは	思ひ出す、思ひ起す	思ひつめる、考へつめる	想ふに必らず、屹度	方法を考へる、工夫すること	思ひも寄らず、料らずも	思ひ出されざる	大、考へが餘りに大きい	誤解する、曲解する

響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>	響 <small>シイアン</small>
陽	年	向	餉	饗	饗	響	馬	響	響
ニヒ	ニヒ	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン
日なた、南向き	先年、従前	さきに、従前、向ふ	糧食を司る官吏	食糧、糧食、給與	饗應する、もてなす、そなへる(神佛に)	向ふ	追利、強盜	同上	ひびき、ひびく、音響

巷	象	似	似	似	像	像	像	像	像
シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン
奴	篇	似	似	似	日	例	來	來	來
小町、小路、横町、ろじ	象飼人	寫眞のこと	似よりたる、似たる	かげま(男色)	似たる、似る、かたち	日まはり花	以前のしきたり、前例	従來、これまで、今迄	不平をこぼす

枝	息	手	工	業	歇	皮	皮	橡	道	口
シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン
果樹の休み年	休息する、やすむ、やめる	手をやめる	仕事をやめる	休業する、營業を止める	やすむ、やめる、中止する	ゴム輪(車などに用ふる)	ゴム管(一切の)	樹の名	小路の入口	小路、横町

斜	楔	些	些	些	蝎	刺	刺	刺	刺	刺	刺
シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン	シイアン
紋布	子	須	微	微	子	子	子	子	子	子	子
織物の一種、うね織物	なまめなる、はず	くさび、型(かた)	しばらく、しの間	僅かばかり、すこし、ちつと	かわか、少し、少許、いさゝ	かつ(毒蟲の名)	かつの針(毒を送る)	やもり	解備する、解雇する	禿頭となる、頭が禿げる	解備する、解雇する

(シイアン 享、響、向、饗、餉、向、像、象、巷、橡、斜、シイアン 歇、蝎、些、楔、斜、一五一)

鞋 シイエ | 對 ドイ | 眼 エヌ | 葉 チ | 揷 チ | 拔 バ | 幫 バン | 後 ホ | 臉 リ | 濟 ジ | 協 シイエ

對 ドイ 過 グ 兒 ル 筋向ひ
 くつ、短靴
 靴を抜ぐ靴
 靴型(くつかた)
 靴篋(へら)
 靴の胴腹の部分
 靴のかもと
 靴の鼻先
 協力する、協和する
 協力して救済する

邪 シイエ | 理 リ | 味 ウ | 氣 キ | 地 ヂ | 病 ビ | 擔 ダン | 眷 クワン | 男 ナウ | 領 リョウ | 挾 シイエ

副支配人
 邪なる、よこしま
 惡臭、いやな臭氣
 災難、惡氣
 惡い場所、惡所
 てんかん(病)
 たづさへる、携帶する
 家族を携帶する
 家族を伴ふこと
 持つ、手に持つ
 はさむ、又音)チイア

制 チ | 仇 ウ | 帶 ダイ | 脇 シイエ | 諧 シイエ | 寫 シイエ | 意 イ | 戲 シ | 心 シン | 信 シン | 船 チ

掣肘する、こはみおさへる
 仇敵とする、仇とする
 隠して携帶すること
 脇骨、いたばね
 聲音をあはせる、音韻を同じ
 やうにすること
 書く(字を)、寫す
 其意味を取りて書くこと
 芝居見物の約束を書きとめる
 心に思ふことを書く
 手紙を書く、通信を認むる
 船の雇入を約定すること

シイエ 鞋、協、邪、擔、挾、脇、諧、寫、血、謝

你 ニ | 眞 チ | 虧 コウ | 氣 キ | 心 シン | 筋 キン | 誠 チン | 癩 ラオ | 癩 ラオ | 謝 シイエ

君も書留めておく(約束して)
 肖像を畫くこと
 ち、血液又(シユエ去聲)
 貧血する、血不足する
 俠氣、義氣
 眞心、まごころ、丹心、赤心
 神經、血管、動脈
 まごころ
 血の道、婦人病
 咯血する病、肺結核
 謝する、ことば、花のしぼ
 み枯れること

瀉^{シイエ} | | | | | 卸^{シイエ} | | | | |
(吐)貨^ホ棧^チ脚^{キョウ}事^ジ印^{イン} 步^フ謝^{シエ}世^シ醫^イ

醫師への謝金
死亡、死去すること
有がたう御座います
訪問を受けたる返禮
おろす、やめる
辭職する、やめる
任務を辭する、やめる
荷物を背よりおろす
貨物を倉庫へ積入る、
倉入れすること
腹下り、下痢すること

懈^{シイエ} | | | | | 蟹^{シイエ} | | | | | 衰^{シイエ} | | | | | 洩^{シイエ} | | | | | 泄^{シイエ} | | | | |
黄^{ワウ}眼^{ガン} 衣^イ 氣^キ漏^{ロウ} 沓^{カク} 藥^{ヤク}

くだし藥、又下痢止藥
もるゝ、もらす
多辯にて喧嘩すること
もるゝ、もらす
氣の鎖まる、氣をおちつける
けがるゝ、けがす
寢衣(ねまき)
かに
湯の沸き立てる泡
蟹の黃身、又蟹肉を混じたる
料理の名
おこたる、懶ける

| | | | | | | 先^{シイエ} | | | | | 械^{シイエ} | | | | |
妣^ヒ頭^{カウ}君^{キョウ}知^チ師^シ古^コ考^{カウ} 闘^{トウ} 鬆^{ソウ}

同上、心のゆるむこと
武器、凶器の類
團體にて大喧嘩すること (福
建地方にて行はる)
さき、先に、先づ
亡父のこと
往古、むかし
孔子のこと
先覺者、先に知る
亡父のこと、又先の主君
以前に、先に
亡母

| | | | | | | 鮮^{シイエ} | | | | | 仙^{シイエ} | | | | |
果^コ味^ミ 馭^ヨ人^{ジン} 鶴^{カク} 鼠^{シユ} (子) 令^{リン} 惠^{ホウ} 花^{ホウ}

後^{ホウ} 果^コ 一姫二太郎といふ諺
前金御拂被下度候の意
銀價計算の語
仙人、神仙のこと
からもり(蝙蝠)
つる
美人局(つゝもたせ)
死去する、逝去する
新鮮なる、あざやかなる
新鮮なる食物
水菓子類の總稱

(シイエ

卸、瀉、洩、衰、蟹、懈、械

(シイエ又 先、仙、鮮

甜 非常に甘き、甘美なる
 野菜、青物の總稱
 新品、新荷
 手にてあぐる、かゝぐる
 手にてのけあぐる
 手にてかゝげあぐる
 かゝげられぬ(重くして)
 獅子ツ鼻のこと
 閑なり、無駄なる、緊要ならざる
 むだごと、餘計な言
 ひまに任せて遊びあるること

空 空から、あき、ひま、餘暇
 事 事、餘計な事、肝要ならぬ事
 小説の類をいふ
 怒り易き、腹立ちツぼき
 むだ錢、遊金
 餘暇においでなさい
 乞食のこと
 のらくら者、あそび人
 無駄話、緊要ならぬ話
 無頼漢、浮浪人
 無厭の者入る可らずといふ意

鹹 鹽辛き、しほツばき
 的 非常にしほからき
 鹽に漬けたる漬物
 筋子(鮭の腹ナ)
 きらふ、きらひなる
 かげ言、いやがる話
 熱 自分勝手に擇り嫌ひする
 賢明なる、賢者
 御兄弟といふ敬語
 ならふ、ならひ熟する
 ふくむ(口にて)

怨 怨をふくむ、怨みに思ふ
 皆、みな集まる
 よだれ
 よだれかけ(小兒の)
 臉 厚顔無耻なる、耻知らず
 つる、弓つる
 はた、ばね仕掛けの織機
 三味線の類
 名譽官職稱、官職稱
 危險なる、あぶなき
 要害、えうがいの地

(シイエヌ) 掀、閒、鹹、嫌、賢、嫺、脚、咸、涎、弦、絃、街、險

顯^{シイエヌ} 形^シ 考^カ 獻^{シイエヌ} 歲^{ソウイ} 枝^ヂ 祭^サ 綫^{シイエヌ} 工^{コウ} 索^{ソク} 金^{キン}

あらはるゝ、あきらかになる
あらはす
亡父、先父
現像する(寫眞の乾板を)
けんずる、呈する、差上る
越年すること
演ずる 技藝を祭る)
祭る、祭祀を行ふこと
いと、糸の如き細きもの、木
繙糸
間牒、牒者
手引きする、聯絡をとること
針金、細き金線

牌^{パイ} 板^{バン} 步^ブ 麻^マ 襪^{ワク} 縷^{リウ} 現^{シイエヌ} 眼^{ガン} 款^{コウ} 錢^{セン} 成^{テイ} 的^{テイ}

銃の照尺
絲卷、いとまき
縫目、ぬひめ(針の)
滿洲産の麻
メリヤスの靴下
細き糸、糸すじ
現在、いま、あらはるゝ、あらはす
旨くいかぬ、物笑ひとなる、面汚しとなること
現金、げんきん
同上
出来合品、出来あひの

在^{ゾウ} 貨^カ 盤^{パン} 陷^{シイエヌ} 縣^{シイエヌ} 城^{シイエヌ} 尊^{ソウ} 父^フ 慕^モ 憲^{シイエヌ}

今、只今、げんざい
あり荷、現在品
現物相場(錢銀などの相場)
おとしいるゝ、肩替り(取引相場用語)
おとしあな、陥穿
行政區劃の稱
縣廳の所在地をいふ
縣知事のこと(敬稱)
同上
うらやむ、美望する
官憲、おきて、法律

書^{シユ} 台^{タイ} 限^{シイエヌ} 制^{テイ} 期^キ 内^{ナイ} 量^{リヤウ} 館^{シイエヌ} 子^シ 寬^{カン} 修^{シウ} 蓋^{カイ}

曆書、こよみ
上長の官、貴官
期限、期日、制限
制限、せいげん
期日、期日を定むること
期限内、期日までの間
限度、際限、底度
あん(饅頭などの中に入るゝものゝ總稱)
はうれんさう
修むる、修練する、習ふ、修築する、修繕する
建築する(建物類を)

改 眞 整 函 問 書 妻 提 差 休

改 手入れする、なほす
眞 道教の教旨を修する
整 修整する、手入れて整然とする
函 手紙を認むる、通信を書くやめる、中止する
問 問ふ勿れの意
書 離別状、離婚の證書
妻 妻を離別する
提 言ふ勿れの意
差 はづかしき、差ぢ入ること
休 滑らかならざる、洗滌

花 脩 饒 宿 食 娼 秀 繡 繡 閣

花 花も差らう美しさ
脩 月謝、師に送る謝金
饒 食物、食事、馳走
宿 古き、口を隔てたる、又陰平又音スウ陽平
食 食もたれする
娼 常習淫賣婦のこと
秀 秀でたる、立派なる
繡 立派なる、美しき
繡 縫取りする、亂るゝ、もつるゝ
閣 同上
婦人の室

鞋 毬 匠 房 女 袖 占 腿 頭 鋪 宣

鞋 婦人の靴
毬 紫陽花(あじさい)
匠 めい箔師のこと
房 婦人室、女部屋
女 處女、美しき娘
袖 そで(衣服の)
占 手にてトふこと
腿 衣服の袖にあるポケット
頭 袖頭の折返したる部分
鋪 さび、金物の銹ること
宣 宣言する、言ふ

昂 洩 講 吵 嘈 鬧 嘖 出 讀

昂 氣高き、上品なる
洩 世間に洩るゝ、ひろがる
講 講話する、講説する
吵 やかましき、かまびすしき
嘈 やかましき、がや／＼と騒ぐぐづ／＼やかましきこと
鬧 やかましく騒ぎたてること
嘖 口にてがや／＼とやかましきこと
出 言ふ、宣傳する
讀 喧傳するゝ
音讀する、聲を出して讀むゝ

シウ休、羞、脩、宿、秀、繡、綉、袖、銹、シウア又宣、喧、誼

軒 <small>セン</small>	懸 <small>ケン</small>	空 <small>クウ</small>	心 <small>シン</small>	起 <small>キ</small>	燈 <small>トウ</small>	羊 <small>ヤン</small>	窩 <small>ワ</small>	文 <small>ウエン</small>	京 <small>チン</small>
のき、建物の稱	かける、かゝる	空理、架空の	心にかゝる、心配すること	かゝる、引かける	彩 <small>サイ</small> 祝ひ事などの飾りつけ	なまけ者のこと	めぐる、かへる、つゞいて	うづまき(水の)	唐草模様の一種
					結 <small>キエ</small>	來 <small>ライ</small>			歸京する、北京にかへる

風 <small>フウ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>	花 <small>カワ</small>
つむじ風、まはり風	日廻花、ひまはり花	獨樂(こま)	目がまはる、まぶしき	目のかすむ	ひぜん(病)	同上	採用試験、登用試験	靴型(木にて作れるかた)	同上
									ろくろ盤

虚 <small>ク</small>	文 <small>ウエン</small>	設 <small>セツ</small>	腫 <small>シュウ</small>	假 <small>カ</small>	契 <small>キ</small>	架 <small>カ</small>	套 <small>タウ</small>	體 <small>テイ</small>	子 <small>シ</small>	費 <small>ハイ</small>
空虚なる、内容なき、うそ	虚飾、かざり	假設の、架空	むくみ(身體の)	架空なる、そらごと、うそ	偽證書、偽證	見えばる、體裁ばかりかざる	内容なき空事、虚の文句	からせじ、見えばる	ほらふき、うそつき	無駄な費用

浮 <small>フ</small>	須 <small>シュ</small>	得 <small>トク</small>	當 <small>トウ</small>	要 <small>ヤウ</small>	憐 <small>レン</small>	恤 <small>シ</small>	鬚 <small>シュ</small>	梳 <small>シュ</small>	蓄 <small>シュ</small>	戊 <small>ブ</small>	時 <small>ジ</small>
浮華、上べをかざる	…すべき、…せざる可らずの意	必然…すべき、…すべし	…するを要す、…せよ	めぐむ、あはれむ、救恤する	ひげ、鼻下のひげ	ひげをすく小櫛	養ふ、家畜などの飼養する	いぬ(十二支の)、守る	午後七時より同九時の間		

(シウアヌ軒、懸、眩、癖、選、檀、鑑、(シウイ虚、須、恤、鬚、蓄、戊、一六三

願 <small>クワン</small>	久 <small>ク</small>	信 <small>シン</small>	下 <small>カ</small>	許 <small>コ</small>	徐 <small>コ</small>	胥 <small>コ</small>	人 <small>ジン</small>	嘯 <small>セウ</small>	需 <small>セウ</small>	月 <small>グヱツ</small>
祈願する、祈願の禮	久しき間、稍久しく	或は信ずる	許す、許可する	許す、或は、多分	徐す、徐す	下役人、下級の官吏	そろくくと、しづかに、おもむるに	そよくと空氣の感ずること	吹く、口にて吹くこと	九月の異名
叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>	叙 <small>シヨク</small>
叙する、述ぶる	叙任する	物語りする、談話ずる	寒暑の挨拶をすること	暄 <small>ケン</small>	物語りする、話す	いとぐち、小口	つとく、つとける	追加金、證據金の追加（取引所の用語）	後妻、後妻を娶ること	謝儀條約、附屬契約

藥 <small>ヤク</small>	透 <small>トウ</small>	死 <small>シ</small>	熏 <small>クワン</small>	郵 <small>ユウ</small>	序 <small>シ</small>	家 <small>カ</small>	婿 <small>ケ</small>	煩 <small>ワン</small>	叨 <small>トウ</small>
魔睡藥のこと	了 <small>リョウ</small> 落ちたるなどをいふ	空息して死すること	いぶる、くすぶる	救郵する、めぐむ	年長者、長老	順序	外孫、外明など	むこ、女婿	くどくしき、うるさき
良 <small>リョウ</small>	法 <small>ホフ</small>	循 <small>ジュン</small>	助 <small>シュ</small>	勳 <small>クワン</small>	籠 <small>ロウ</small>	肉 <small>ニク</small>	雞 <small>ケイ</small>	燻 <small>クワン</small>	薰 <small>クワン</small>
良民、法規を逸せざる良民	したがふ、つたふ、そふ（沿） 法規にしたがふ、法則 守ること	同上	勳功、勳勞、てがら	あんか ことつ	燻製肉、燒肉の一種	燻製の鶏肉	くすべる、くすぶる	かをる（香氣の） ぶんく、香氣の	かをる（香氣の） ぶんく、香氣の

(シウイ需、虚、胥、徐、許、叙、緒、續、架、婿、序、郵、熏、勳、助、循)

巡	夜	警	尋	嗔	短	旬	内	外	狗	私
まはる、めぐる、巡回する	夜まはり番、夜警すること	巡査、警察官	もとむる、又音(シヌ)	憤激する	自殺する、思ひつめて短氣を起すこと	旬日は十日間	十日間以内	十日間より多き日子	かばう、庇護すること	私情を以て事をする
情	庇	訓	蒙	殉	節	名	利	迅	疾	即
私情を用ふる	庇護する、かばう	をしえる、導く	一手解きする、初めから教へる	殉死する、殉葬する	節義に殉する(婦人などが)	名譽の犠牲となる	利の爲めに殉する	迅速なる、はやきこと	立所るに、一すぐ	早速、速かに、はやき、とく

電	訊	汎	官	地	詢	遜	順	靴	子	
非常に早きことを形容する語	とりしらぶる、問ひしらべる	取調べる、訊問する	番所、見張所	巡察官、番卒の長	見張所、交番所の類	とふ、たづねる	證據をしらべる	抑損する、へりくだる	柔順なる、すなをなる、をとなしき	くつ、長靴のこと
靴	子	學	規	匪	名	鞋	場	茄	化	
長靴の上部、長靴の胴	學校、學問、又音(シイアオ)	學校費、教育費	學校の規則、學習規	學生にして良民を追害する者	初めて學に就きて師より與へられたる名	ゆき、白きこと、そまぐ	スキー	雪なだれ、雪の崩れ落ちること	シガー、葉巻煙草	雪どけ、雪がとける

(シウイヌ巡、尋、旬、狗、調、殉、迅、訊、汎、詢、遜、(シウエ靴、學、雪 一六七

梨	穴	血	兄	凶	台	弟	煞	耗	荒
シドニー(濠洲の地名)	あな、墓穴 墳穴、墓穴	ち、又音シイエ上聲 あに、君(同輩との用語)	貴兄、君、貴君(同輩に) をとんと(口語には兄弟の意 に用ひず)	凶悪、あしき 厄、災厄、厄難	凶報、あしきしらせ、計報 凶年、凶荒の年				

兇	手	險	狼	横	胸	膈	肺	雄	狀	赴	赴	的
凶悪なる、わるもの、悪事 凶行者、殺人などの下手人	あしき、險悪なる 悪の甚しき、猛悪なる	あしき、横着なる	むね	胸膈、むね、むなもと	同上	男性、雄々しき	男らしき、活潑なること 勇壯活潑なること、勢					

熊	身	故	金	價	量	申	文	刻	斥	月
くま	身體、からだ、肉體 死去する、死亡する	給料、働らく報酬 同上	身長(みのたけ)、せい さる(十二支の)、下より上に 送る公文章の一種	下より上に送る公文書 午後三時より五時 却下さるゝ、斥ける	七月の異名					

伸	冤	懶	深	籃	星	兒	筋	呻	紳
のばす、のべる、のびる 不平を晴らす、冤枉を晴らす 背伸びすること	深き、濃き 濃藍色のこと	人參(藥用の)、又音ツアヌ、ツ (エヌ)サヌ	宵の明星	同	上等料理の大宴会 うめく、呻吟する、あくびする				紳士

深、參、呻、紳 (シウエ、雪、穴、血) (シウン兄、凶、兇、胸、雄、熊) シエヌ身、申、伸 一六九

紳士、上流社會の人	紳士社會、上流階級	神、精神、こゝろ	容子、よろす、態度	神罰(しんばつ)	審査する、取調ぶる、しらべる	事件を調べる	慎重なる	裁判所(初級、地方、高等の別あり)	をば、をばさん	同上
-----------	-----------	----------	-----------	----------	----------------	--------	------	-------------------	---------	----

同上	同上	甚だ、大に、又陽平	甚しき、極點の、甚しきに至りては……	つゝしみ、つゝしむ	行動をつゝしむこと	腎、舉丸(きんたま)	水のしみこむ、にじむ	水などがにじみこむ	手ぬかりしたること	收むる、受取る、片付ける
----	----	-----------	--------------------	-----------	-----------	------------	------------	-----------	-----------	--------------

輸入する、入港する	仕事を終る、工事を終る	収入、金を受取る	成功する、効果ある	受取る、受入る	片づける、整理する、修理する	産婆	うけ出す(質物などを)	質にとる、質を取る	受領書、受取書	落手する、入手する、受取る
-----------	-------------	----------	-----------	---------	----------------	----	-------------	-----------	---------	---------------

受渡する、交付する	勘定を受取る	をさまり、結果、成行	收穫(農作物など)	受領する、とる	受取る、受納むる	農作物を收穫する	全部を受領したること	全部受取済、拂込済	受取つて置く、貯へて置く	受納して置く、とつておく
-----------	--------	------------	-----------	---------	----------	----------	------------	-----------	--------------	--------------

帖	條	發	房	兵	回	號	貨	買	斂
アエ	アエ	フ	フ	ヒ	ホ	ホ	ホ	リ	リ
帖	條	發	房	兵	回	號	貨	買	斂
員	兒						單	賣	着
ニ	ル						ダ	マイ	チ
員	兒						單	賣	着
受領證、受取書	同上	出納係、受授係	下婢を妾とすることをいふ 兵士を引あげる、兵士を收容する	とりかへす、回收すること	受領の番號、廢棄する	荷受狀	閉店する、營業を廢す	しまる、しまつて	熟する、熟練する又音シユ

煙	客	習	悉	閑	識	手	炭	套	主	田
エン	コ	シ	シ	ク	シ	テ	タン	ソ	チュ	ア
煙	客	習	悉	閑	識	手	炭	套	主	田
顧	子									
ル	ツ									
顧	子									
精製したる阿片	なじみ客、よく知れる客	習熟する、よくならふこと	よく知れる、熟知すること	手なれること、熟練する	よく知ること、熟知する	熟練者、上手なる人	おき(火のこと)、炭火	きまりきつた習慣の意	古くよりのなじみ花客	古い田(新開のに對して)

銅	飯	人	藝	印	眼	紋	桿	棍	鏑		
ドン	ヘン	リ	イ	イン	ガン	コン	カン	コン	カク		
銅	飯	人	藝	印	眼	紋	桿	棍	鏑		
精練したる銅	よく煮えたる飯	知り人、なじみの人	手、胸前	手、腕前	手、手わざ	手のあと、拇印	手のくるぶし	手すじ、手の筋紋	手くびのこと	ステツキ、杖	手枷、手錠のこと

釘	拐	困	心	鬆	到	套	槍	紙	鐘	甲
クウ	クワイ	コン	シン	ソウ	トウ	ソウ	チヤウ	チ	チュウ	ケウ
釘	拐	困	心	鬆	到	套	槍	紙	鐘	甲
ぼたん、カフスぼたん	ステツキ、杖	貧窮なる、手元不如意	手のひら	金費ひにしまりなき、金を持てば浪費する	除 名醫を形容したる句	手ぶくる	ピストル	きよめ紙、鼻紙	呼鈴、ベル	爪、つめ

病	票	喝	寒	凍	罪	聽	典	吃	驚	屈
病氣になる	手形名宛ハ	飲むことの出来る、口あたりよき	寒氣にあてられる、感冒	凍へる、凍る	失敗する	聞くに堪へたること	質をとる、質に取る	食べられる(旨いこと)	驚くこと、吃驚する	同上

險	數	物	壽	熱	累	愚	用	宛	賣	不
終身保險、生命保險	命數、定命	葬式に用ふる品物をいふ	命數、定命、いのち	熱さあたり、暑氣あたり	つかると、がっかりする、心配する	役に立つ、用ゐる處のある	無實の濡衣を着せらるゝ	賣れ口の上き、賣れ行の上き	たまらぬ、堪へられぬ	住

盤	直	價	讀	肉	木	材	星	頭
賣り盡したること	同上	うりね、賣價	書籍を教ふること 賣る、主として文章に賣と同じに用ふ	肉類の味ひ無きもの、下等肉授くる、教ふる	同上	棺材のこと	長大なる頭、福祿壽星	

望	華	貨	賬	欠	死	除	獸	賣
野心、不相當なる望	奢侈なる、贅澤なる	奢侈、おごる	品物を懸にて賣買すること	懸賣り、貸賣り、懸買	命がけ、死を賭する	かけ、かり、借金	動物の部類	うる、發賣すること けもの、獸類

捨^{シヤ} 賂^{シヤ} | | 蛇^{シヤ} | | 折^{シヤ} | | 舌^{シヤ}

(本)頭^{ベヘ} 解^{タイ} 本^{ベヘ} 壽^{シヨウ} 頭^{タイ} 耕^{ケン}
疗^{リョウ} 我^{ウオ}

した
した
教師のことをいふ
した
をる、挫折する、又音チ(オ
痛み入りますといふ語
資本をする、損失
へび
蛇の脱殻すること
指先の腫物
損する、もとでを損する
すてる、ほど、す、喜捨する

| 射^{シヤ} 救^{キウ} | | | | 設^{シヤ} | | |

光^{コウ} (放) ^{ファン} 如^ニ 或^ホ 擺^{バイ} 席^{シヤク} 不^フ 本^{ベヘ} 粥^{チヨウ}
得^{トク}

粥を施こす(貧民に)
根本を疏かにする
堪え得ざる(忍びざること)
設備する、若しも、若し、或は
宴會の準備すること
飾付くる、ならべたてること
若しも、或は、又
もし、或は、若しも
放免する、ゆるす
射る、又音シー陽平
光線のこと、放射線

| 涉^{シヤ} | | 社^{シヤ} | | | | | 舍^{シヤ}

訟^{ソウ} 日^{ニチ} 長^{チヤウ} 獠^{リョウ} 敵^{テキ} 妹^{メイ} 親^{シン} 下^ゲ
獠^{リョウ}

家屋、又自己の謙稱に用ふ
拙宅、私の家
私の親戚といふこと
私の妹といふこと
拙宅、私の宅
山地に棲む獸の名
講社、組合
講中の頭、講元
祭日
交渉のある、かゝりあひある
訴訟に關係する

| | | | | 生^{シヤウ} | 攝^{シヤク} 麝^{シヤク} (鹿)

疎^ソ 手^テ 宣^{セン} 書^{ショ} 性^{シヤウ} 客^{キヤク} 意^イ 魂^{コン} 鈴^{リン}

麝香獸のこと
攝する、約めること
僧侶の振る鈴の名
生なる、未熟なる、生るる、生
ずる、生む、出る
營業、職業
新らしい客、初めての
人見知りする(小兒が)
始めて見る本のこと
明礬を引かぬ宣紙
未熟の人、あられて、しらくと
未熟なる、經驗の新たなる

シ(オ)舌、折、蛇、賂、捨、設、敵、射、舍、社、涉、麝、攝、生(オン)生

端	錦	天	濁	就	齒	氣	吃	借	息	色
端	錦	天	濁	就	齒	氣	吃	借	息	色
端	錦	天	濁	就	齒	氣	吃	借	息	色
端	錦	天	濁	就	齒	氣	吃	借	息	色

聲	人	日	愚	面	平	火	花	財	菜
聲	人	日	愚	面	平	火	花	財	菜
聲	人	日	愚	面	平	火	花	財	菜
聲	人	日	愚	面	平	火	花	財	菜

陞	課	子	浪	氣	張	稱	說	勢	聞
陞	課	子	浪	氣	張	稱	說	勢	聞
陞	課	子	浪	氣	張	稱	說	勢	聞
陞	課	子	浪	氣	張	稱	說	勢	聞

工	昇	笙	畜	性	甥	官	冠
工	昇	笙	畜	性	甥	官	冠
工	昇	笙	畜	性	甥	官	冠
工	昇	笙	畜	性	甥	官	冠

シ(オン) 聲、升、陞、甥、性、笙、昇、繩

省 | 索 | 墨 | 細 | 事 | 心 | 下 | 城 | 錢 | 分 | 會

なむ
すみなわ、定規組
行政區の省、はぶく、はぶける
儉約、節約すること
手数の省けること、面倒ならぬこと
安心する
はぶく、略す
一省の首府をいふ
錢を儉約する
省(行政區劃の)、各省
一省の首都

辦 | 油 | 燈 | 設 | 情 | 聖 | 教 | 廟 | 下 | 錢

各省行政官廳の行ふべき事柄
馬鹿正直に柔和なる人
盛んなる、又音チ(オン陽平有氣)
御馳走(他人に對して)
御親切、御厚情の意
聖人、神聖なる
孔子の教
孔子廟
あまり、のこり、剩餘
のこり、剩餘、のこる
錢をのこす、錢が餘る

勝 | 手 | 似 | 仗 | 任 | 書 | 案 | 頁 | 榻 | 館 | 櫃

勝る、堪ふる、勝つ
チヤンピオン
：：よりも勝れたる
かちいくさ
其任務に堪ふること
書籍、書類、文字
本机、讀書桌
本のページ
本臺、本を載せる臺
藝者屋、歌を唄ふ所
本箱、書籍箱

生 | 手 | 香 | 人 | 香 | 單 | 差 | 廠 | 鎮 | 啓 | 房 | 封

私、小生、僕
書記、筆生、かきて
學者、儒者
迂學者、腐儒
書籍目錄
書記、書き役
大道の講釋場
ぶんちん
生、文書を掌る相談役
書齋、學問室
封筒、ふうとう

シ(オン)省、盛、聖、剩、勝、シユ書

輸 | | | 梳 | | | |
 家 | 眼 | 贏 | 權 | 篋 | 皮 | 包 | 班 | 辦
 力 |
 書記、かきやく
 同上
 本を入れる、靴(かばん)
 書籍の表紙
 くしけづる、とかす(髪を)
 くし(髪を梳く)
 水揚する(花柳界の語)
 おくる、まける
 負け勝、勝敗
 見損ふ、鑑定を誤る
 まけた人(勝負事に)

| | | 贖 | 樞 | 殊 | | | 舒 | | |
 不 | 當 | 身 | 紐 | (異) | 服 | 坦 | (暢) | 不 | 東 | 起 | 兒
 起 | 起 | 兒
 かけにまけておごる
 負けて居たまらぬ
 のびやかなる、心地よき
 こゝちよき、愉快なる
 同上
 同じからざる、特異の、別なる
 樞軸、要處、又音チユー
 つぐのふ、受出す
 妓女などを受出すこと
 質受けする、質物を取りだす
 受出されざる(金がなくて)

| 暑 | | | 熟 | 秣 | 淑 | | | 叔 | | |
 假 | 爛 | 車 | 稽 | (氣) | 伯 | 伯 | (叔) | 回
 弟 | 姐 |
 受け戻す、受け出す、回収する
 をし、父の弟
 妹、いとこ(女の)
 兄、從兄弟(いとこ)
 しとやかなる、長き、空氣の
 清澄なる
 きびがら、高粱稈
 熟する、又音シヨウ
 なじみの車
 菓物などの爛熟せること
 暑氣、あつさ
 暑中休暇、夏の休み

鼠 | | | 屬 | | | 署 | | |
 甚 | 下 | 相 | 理 | 任 | 辦 | 月 | 伏
 麼 | 的 |
 盛夏の氣候をいふ、土川中
 六月の異名
 官公署、代理する、署理する
 代理する
 代理する、代任する
 代理する
 屬する、つく
 生れ年(十二支の)
 關係する
 何年(十二支中の)生れ
 的、かといふ意
 ねずみ

シユ 梳、輸、舒、殊、樞、贖、叔、淑、秣、暑、署、屬、鼠

樹 | | 數 | 蜀 | 黍 | 薯 | 菽 | | |

眼 益賊などの目つき
瘡 頸に出来る腫物
肚 憶病なる、小心なる、け
鶏 腸 ちな奴といふ意
豆と粟、雜穀
いも、芋の總稱
きび
にしき、四川産の緞子
かぞへる、又去聲
ぐづぐづいふ、あらをひろふ
お前は役に立つ見込が
ないの意
樹、木

| | | 賢 | 堅 | | | |

園藝
植木屋
樹のまた、樹の枝又
林、森
たて
たて、役に立たぬこと
怒る、立腹する
立心べん(字畫の)
迂儒、腐儒
庶人、庶田(妾腹)の
幾んど、ちかき

| | 戊 | 術 | 恕 | 述 | | | 東 | | 數 |

九 數、かず、又上聲、音ソ
冬至より以後の寒氣
たばねる、東、又音ス
東修、謝金
月謝、謝金の類
のべる、言ふ、話す
ゆるす、恕す、かんべんする
魔術士、法術士
守る、守備する
守備軍、戍兵
國境地方を守備すること

| | | 耍 | | | | | 刷 | 嗽 |

口をそぐ
はく(刷毛にて)する
印刷する(各種の版を)
色を付ける、繪の具をぬる
はげご、刷毛箒
石灰をぬること
青色き、血の氣なき
もてあそぶ、戯むる
人の手傳へする労働者
だます、馬鹿にする
からかふ、ふざける、戯る

シユ菽、薯、黍、蜀、數、樹、豎、豎、庶、數、東、述、恕、術、戍、嗽、シユア刷、耍 一八七

手 <small>シヨウ</small>	錢 <small>チン</small>	嘴 <small>ツヱ</small>	盤 <small>パン</small>	話 <small>ワ</small>	貨 <small>カ</small>	洗 <small>シ</small>	淵 <small>エン</small>	人 <small>ジン</small>	衰 <small>シ</small>	邁 <small>マイ</small>
藝 <small>イ</small>	錢 <small>チン</small>	碗 <small>ワン</small>	的 <small>テ</small>	的 <small>テ</small>	的 <small>テ</small>	雨 <small>ユ</small>	大 <small>ダイ</small>	邁 <small>マイ</small>	邁 <small>マイ</small>	邁 <small>マイ</small>
手工に從事すること	賭博すること、かけすること	からかふ、口にてからかふ	皿まはし(藝人)	じやうだん、笑ひ話	おもちゃ、玩具	あらひそぐ、又音シユアン	雨 <small>ユ</small> 容する語	人を小馬鹿にする	衰ふる、衰微、衰弱	老衰すること

摔 <small>シユアイ</small>	跟 <small>ケン</small>	手 <small>シヨウ</small>	手 <small>シヨウ</small>	死 <small>シ</small>	碎 <small>スイ</small>	倒 <small>ダイ</small>	牌 <small>パイ</small>	破 <small>パ</small>	鼻 <small>ビ</small>	甩 <small>シユアイ</small>
頭 <small>トウ</small>	頭 <small>トウ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>
ちりはらふ、ふりはなす、くちく	ころぶこと、倒るゝ	手をくじく	人を突放して構ひつけぬ、無情なること	のたれ死、落ち倒れて死する	投げ砕く、抛つてこはす	ころぶ、ふりころばす	名聲を損すること	こはす、投げこはす	手ばなをかむこと	ふりうごかす、尻尾を振る

率 <small>シユアイ</small>	意 <small>イ</small>	常 <small>チヤン</small>	帥 <small>シユアイ</small>	旗 <small>チ</small>	蜂 <small>シユアイ</small>	控 <small>シユアイ</small>	上 <small>シヤン</small>	住 <small>チュ</small>	通 <small>トウ</small>	娃 <small>ワ</small>
率 <small>シユアイ</small>	意 <small>イ</small>	常 <small>チヤン</small>	帥 <small>シユアイ</small>	旗 <small>チ</small>	蜂 <small>シユアイ</small>	控 <small>シユアイ</small>	上 <small>シヤン</small>	住 <small>チュ</small>	通 <small>トウ</small>	娃 <small>ワ</small>
ひきゐる、したがふ、又書リユイ	やりばなし、不注意	常に、平生、ふだん	ひきゐる、軍隊の首腦	元帥旗、司令旗	ころろぎ、きりくす	ゆはひつける、結びつける	つなぎゆはひる	つなぎとめる	なれあひ、なれあふ	小兒の形を神前に結びて妊娠のまじなひをすること

淵 <small>シユアン</small>	乾 <small>カン</small>	着 <small>チョ</small>	門 <small>メン</small>	雙 <small>シユアン</small>	款 <small>コウ</small>	掛 <small>コウ</small>	十 <small>シ</small>	生 <small>シヤン</small>	姓 <small>シヤン</small>	數 <small>シュ</small>
淵 <small>シユアン</small>	乾 <small>カン</small>	着 <small>チョ</small>	門 <small>メン</small>	雙 <small>シユアン</small>	款 <small>コウ</small>	掛 <small>コウ</small>	十 <small>シ</small>	生 <small>シヤン</small>	姓 <small>シヤン</small>	數 <small>シュ</small>
洗ひそぐ、又音シユア	きれいに洗ふ	だます、ひやかす、ばかにする	門のくわんぬき	二ツ、兩意語	落款(二個の)	配達證明(郵便物の)	十月十日の國祭日	ふたご	二字姓、複姓(諸葛、司馬などの類)	偶數(奇數に對する)

シユアン 湖、門、雙、衰、摔、甩、率、帥、蜂、控

シユアヌ 控

喜 <small>(シイ)</small>	祝賀のしるし喜を二字並べたるもの
胎 <small>タイ</small>	ふたご
茶 <small>チア</small> ・ <small>チイ</small> ・ <small>チエ</small> ・ <small>チエ</small>	家屋借入に際し家主に送る二ヶ月分の茶代
茶 <small>チア</small> ・ <small>チア</small> ・ <small>チア</small>	鐵道の踏切
層 <small>ツオン</small>	二重、二層、ふたへ
抱 <small>バオ</small>	ふたご(双生兒)
邊 <small>ビエ</small>	二重ふち、ふたへぶち
立 <small>リ</small> ・ <small>リ</small> ・ <small>リ</small>	行人べん(字畫の)
霜 <small>シユアン</small>	酸酵物(果物などの糖分)
孀 <small>シユアン</small>	寡婦(やもめ)
爽 <small>シユアン</small>	さはやかなる、爽快なる

神 <small>シニ</small>	心持のよき、こゝちよき
失 <small>シ</small>	まちがひ、まちがふ
脆 <small>ツイ</small>	てきはきする、さつぱりする
利 <small>リ</small>	心地よき、はやき
約 <small>ヨク</small>	約束を違へる、違約する
誰 <small>シユイ</small>	たれ、何人
知 <small>チ</small>	誰か知らん、豈料らんや
不 <small>フ</small>	誰か知らざらん、何人も知れり
水 <small>シユイ</small>	みづ
一 <small>イチ</small>	遠廻しに鎌をかけて言ふ
烟 <small>エン</small>	水煙草(水を通して吸ふ刺煙草のこと)

紋 <small>ウツ</small>	自然のすじ紋(水晶など)
坑 <small>コウ</small>	水溜、ためいけ
鼓 <small>コ</small>	水ばれすること
果 <small>コ</small>	くだもの、水果子
管 <small>クワン</small>	水入れ籃(かご)
瀉 <small>シイ</small>	下痢する
險 <small>シイ</small>	海上保険
性 <small>シイ</small>	浮氣なる、堅實ならぬ性質
綫 <small>シイ</small>	海底電線
獺 <small>ダ</small>	かはをそ
長 <small>チン</small>	水の増すこと、洪水になる

シユアン 霜、孀、爽 シユイ 誰、水

脚 <small>チイ</small>	船の運賃
役 <small>イ</small>	船人足、波止場人夫
屨 <small>チ</small>	水入器
晶 <small>チン</small>	くづまんぢう
菜 <small>ツァイ</small>	野菜の一種、水中の青物
賊 <small>ツァク</small>	海賊
電 <small>ヂン</small>	水力電氣の發電所
靛 <small>ヂン</small>	藍靛の一種
土 <small>ド</small>	服
燉 <small>ドゥ</small>	土地の風土に慣れざる
頭 <small>トウ</small>	錫こなる(錫をかけて煮る)
兒 <small>ル</small>	水氣(みづけ)

斗子	水汲籠、水を汲み出すもの
泥船	鐵筋コンクリート船
早	水災と旱害
痕	さびなみ、小波
盆	水入、文房具の)
火壺	湯沸し壺
火壺	消防組合をいふ
紅	淡桃色、紅梅色
戸	妓樓、お茶屋
牌	商店の覚え書き板
牌	未決定の事をいふ

籠子	ひる(蛭)
盆	たらひ(各種の洗濯盆)
瓢	水汲み杓子に用ふる瓢
猫	かはうそ
墨	墨繪、淡墨の畫
磨	磨き練瓦(つやあるもの)
木	陸上の建築物及び船な
綿	海綿、スポンジ
玉	水晶
力	船の運賃
簾	あらき簾、粗簾

龍頭	水道の水栓口
落石	出られる、事件の真相があらはるゝこと
禮	食品などの贈物をいふ
月	燈、ア、ク燈
稅	稅、租稅
司	支那の關の長(各關に在り)
餉	稅糧、税金
單	徵稅令書
契	稅書、稅證
睡	ねむる、睡眠
香	熟睡する、ねこむ、うまるする

醒	目がさめる、眠りよりさむる
响	午睡(ひるね)する
沉	よく眠る、熟睡する
覺	ねむる、寝る
不覺	朝寢坊すること
瑞(國)	寢つかれぬ、眠られざる
純	瑞國、又音ロイ
素	純一なる、まざりなき、チユ
酒	眞白なる、純白の
順	眞酒、よき酒、又チユヌ郎平

シユイ稅、睡、瑞、シユイヌ純、醇、順

客開	利便	氣丸	情當	手	口	眼
カキ	ベニ	クワン	チン	ショウ	コウ	ガン
話相手、話の上手なる人	言ひわけする、説明する	順調なる、都合よく運ぶこと	言ひわけする、説明する	手ついでに、仕事のついでに	口から出任せにしゃべる	みよき、體裁よき、見て氣に入る

知	長	起	家	到	道	笑	像	媳	事	書
チ	チン	チ	チ	タオ	タオ	シヤウ	シヤウ	シヤウ	シ	シ
知らせる、話してきかす	短	話し始める、説き出す	妻を娶る	言ふ、語り及ぶ	言ふ、語る、話す	談笑する、面白げに話す	こはいる使ひ	嫁の相談をする、婚姻談	中人、仲立人、仲裁者	講釋師、軍談語り

情	錯	走	帖	透	好	翻	譜	活	片	白
チン	ツオ	ツォ	ア	トウ	ハオ	フ	フ	ホ	ピ	パイ
情願する、心中を語る	言ひまちがふ、話しちがひ	行けと言へば行く、言ひなり放題になる	口上書き	徹底的に話す	仲なほりする、説きまとめる	口論になる	理屈ばかりをひねくる、言ひ草	言ひ正す餘裕を残して話す	説帖兒に同じ	まちがふ、出たらめを言ふ

心	湖	不	不	不	不	不	不	不	老	月
シン	コ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	ラウ	グエ
口先に勝てぬ、言ひまける	言ひ盡されざる	話しがはつきりせぬ	言ひ出せぬ、言ひ出せざる	言はれぬ、話し得ざる	言ひ終られざる	言はれない、話せない	嫁の相談をすること	ついたち、一日	十月の異名	こゝろ、精神

愛	眼	窩	意	肝	坎	上	術	胸	思	
心から可愛がる、心から好く	精神、心中	心臓、むね	こゝろ、意思	心、精神、ハート	みぞをち、心臓、心	むね、みぞおち	想うて居る人、意中の人	こゝろさま、こゝろもち	精神、むね、こゝろ	意味、意義、こゝろ

酸	歹	焦	巧	竅	跳	田	頭	裁	活	服
かなしき、かなしむ	精神の悪しきこと	氣をもむ、心を焦ること	伶俐なる、器用なる、心に働きのある	聰明なる、わかる	心臓の鼓動する	心底、心の内	こゝろ、おもはく	心の働くこと、工夫を凝すこと、氣を働かす	心が愉快になる	心からの話、まごゝろからの話

新	異	葉	姑	手	欠
新らしき、新奇なる	珍奇なる、新奇なる	新茶、木の新緑	花むこ	新参、あらて、しらうと	新らしき借財、新借錢

欣	辛	工	苦	節	近	山
正月、新月	よろこぶ、よろこび	からき、つらき、苦勞なる	苦勞する、苦勞なる	給料、給金	たきい、俸給	俸給 同上

尋 | | | | | 信 | | | | |

死^シ 找^チ 歡^ホ 不^フ 音^イ 稿^カ 口^コ 息^シ 水^シ
著^チ 著^ア 說^シ

たづねる、もとめる、又音(シ)ウイヌ
自殺する、自害する
たづねる、もとめる
たのしむ、樂みをとること
尋ねつけられぬ、もとめつけられぬ
消息、たより、手紙、信ずる
たより、消息
手紙の下書、書翰の草稿
口から出任せに言ふ
消息、たより
月經、蛇の毒液

| | | | | | | | | | |

石^シ 行^キ 單^タ 道^ダ 局^キ 笑^チ 不^フ 及^チ 皮^ヒ 砲^ポ
兒^ニ 子^シ 子^シ

砒石、砒霜、毒藥の名
信用、信任狀
保證狀
信仰す、信心する
飛脚屋、通信文、送り届ける
營業
狀差、來輸入
郵便爲替
信じられざらぬ
郵便はがき
封筒、狀袋
信號砲、どんの類

興^キ | | | | | | | | | | 星^シ

期^キ 期^キ 期^キ 期^キ 速^ス 象^{ゾウ} 使^シ 散^{サン} 夜^チ 星^シ
日^ジ 報^{ホウ} 六^{リク} 一^{イチ}

ほし
夜中、よなか
ちり／＼ばら／＼になること
公使、大使、使臣
ほし
迅速なる、はやき、快速なる
月曜日
土曜日
日曜日に發刊する新聞紙
日曜日
おこす、おきる、又去聲

行^キ 馨^シ 猩^シ | | | | | 腥^シ | | | | |

開^{カイ} 工^{コウ} 修^{シュ} 時^ジ 旺^{ワウ} 味^ミ 臊^{ソウ} 羶^{シヤウ} 猩^シ 馨^シ 行^キ
(香^{カウ}) (猩^シ)

始めてする、はじめ
工事を始める、仕事をはじめ
修繕を加へる
時の流行、はやり
盛んなる、隆盛なる
なまぐさき、腥氣
なまぐさき、腐れくさき
なまぐさき
しやう／＼
芳香、かほり、よきにほひ
行ふ、する、行爲、可なる

(シ)又尋、信 (シン)星興、腥、羶、馨、行

醫^イ 文^ウ 省^シ 鎖^シ 許^シ 香^シ 台^{タイ} 止^チ 刺^チ 貨^ホ 不^フ 行^シ

醫業に従事する
文章を作ること
行政区の省、各省
賣捌く、賣捌ける、はける
許可する、ゆるす
參詣する、燒香する
大官の宿所
おこなひ、行爲
暗殺する、刺客となる
行商する、大口の品、劣等品
可なるや否や、宜しきや否や

形^シ 刑^シ 李^リ 樂^ロ 院^ユ 轅^ユ 房^フ 不^フ 到^ダ
跡^チ 席^シ 問^ウ 圖^ド

ゆきつけぬ、徹底せざる
交接する、肉交する、性交する
官吏の旅館
妓樓、青樓、貸座敷
遊び樂しめる繪卷物
荷物、貨物、こうり
刑罰、刑法
拷問する、訊問する
官廳の刑事法の相談役
かたち、あらはす
形跡、あとかた

頭^ト 貌^マ 様^ヤ 察^チ 親^チ 藥^ヤ 鼻^ビ 性^シ 擲^シ 醒^シ 省^シ 興^シ
命^{メイ} 傲^{アウ} 子^シ

役者の裝束、芝居の衣裳
やうす、ありさま
外形、かたち
省察する、かへりみる
歸省する、親の許へかへる
氣付藥、魔睡劑
鼻をかむ
性質、氣質
氣のおごれ、傲慢なる
生命、いのち
きようみ、面白み、又揚平

(シン)刑、形、省、醒、擲、性、興、幸、姓、杏

幸^シ 而^ニ 虧^ク 名^{メイ} 譜^フ 兒^ニ 乾^{カン} 黃^{ワウ} 月^{グヱ}

幸ひ、幸福、しあはせよき
幸ひにして、折よく
幸ひに、幸ひにして
姓名
家系、系譜
あんず
ほしあんず
琥珀色、樺色に似たる色
二月の異稱

私	意	印	鹽	識	下	逃	錢	帖	子	ス
ひそかに、秘密に、暗に、内 證に	私見	秘密出版する	官の賣買する以外の鹽（密賣 買する）	私通する、くつつく	ひそかに、暗に、こっそりと かけおちする	個人が私鑄する錢	商店が任意に發行する一種の 紙幣			
話	貨	姘	孩	愛	事	機	科	絲	入	扣
内證話、秘密の話	公許を得ざる貨物、秘密品	私通する、野合する くつつ く、密通する	私生児て、なしご	思う、かんがへる	愛する、好く、可愛がる、惚 れる	司る、事を管掌する人	運轉手、機關士 局課（官廳の）	絹糸、きぬいと、生糸	片端から整理する	

線	釘	條	呢	役	打	混	罵	撕	開	破
絲の總稱	小鋸、鋸釘	いとひも	絹せるの類	小者、召使、下僕、奴	つゞけざまに打つ、互に打ち あふ	ふざける、おどける、さはぐ	つゞけざまに罵倒する	裂く、やぶり裂く	裂く、切りさく、ひつさく	裂き破る、やぶる
斯	死	鬼	掘	心	黨	記	乞	就	井	斯
此の、その、學者風なること	死する、殺す	心に働きのなき、融通のきか ぬ	幽霊、亡者、死人	堵かりたる溝	氣轉のきかぬ、心の働かぬ	決死隊	一旦記憶して忘れざる	只管に懇願する	死去する、死亡する	水のなき井戸、から井戸

スー私、思、司、絲、斯、撕、斯、死

11011

外	不	拜	清	海	下	開	四	很	法	拿
外	不	拜	清	海	下	開	四	很	法	拿
各地、諸方、四方の地	像	像	最敬禮のこと	八方美人主義 少しも抜目なき	四方、四邊	四つに切りたるもの、一、四分の一	四、四つ	死ぬ生きるの騒ぎ	融通のきかぬ法	飽迄も一法を頑守する

祀	寺	嗣	似	肆	路
祀	寺	嗣	似	肆	路
先人	後	乎	業	子	同上
先人	後	乎	業	子	同上
まつる、先人を祀ること	寺院、てら	其後、それより	似る、類似する、似寄る	似たり、似寄りたる	放肆なる、ほしひまとなる

疏	軟	蘇	似	俟	飼	巳
疏	軟	蘇	似	俟	飼	巳
怠慢なる、おこたる	おこたる、疏漏なる、疏状	蘇州風の齧	蘇生する、蘇州、江蘇、すわ	女児	まつ、待ち受ける	飼養する、飼育する

素	速	宿	俗	甦	寤
素	速	宿	俗	甦	寤
清廉の官吏	速かなる、はやき、速く	ふつか酔ひすること	日を隔つる、又音(シウ去聲)	俗務、世上の務	ありきたり、しきたり

ス一四、肆、似、嗣、寺、祀、巳、飼、俟、似、スウ蘇、疏、甦、俗、宿、速、素 二〇五

性 <small>シヤン</small>	常 <small>チヤン</small>	族 <small>ツツ</small>	體 <small>テイ</small>	日 <small>リ</small>	肅 <small>ス</small>	訴 <small>ス</small>	夙 <small>ス</small>	夜 <small>チ</small>	慧 <small>ホウイ</small>	偶 <small>オウ</small>	塑 <small>ス</small>
生れつき、天性	平生、ふだん、日常	平民、人民、百姓	すがほ、きぢ	平日、平生、日常、ふだん	つゝしむ、敬意をこめて	訴へる、告訴する、訴狀、陳情すること	はやく、つとに、早くより	朝夕、あさばん	ませたる、早熟なる	木偶、でく、人形	

粟 <small>ム</small>	森 <small>セン</small>	嗽 <small>ソウ</small>	縮 <small>ソク</small>
あわ、穀類	森々(しん々)たる、しづかなる、神々しき	そゝのかす、教唆する 訴訟の尻押しをすること 教唆する、そゝのかす 同上、尻おしすること ちぢむ、ちぢめる、頸をちぢめる	ちぢむ、ちぢめる、頸をちぢめる

砂 <small>シャ</small>	梭 <small>ソ</small>	蓑 <small>ソ</small>	孛 <small>ソ</small>	數 <small>ソ</small>	索 <small>ソ</small>	隱 <small>イン</small>	性 <small>シヤン</small>	取 <small>チ</small>
口中の臭氣を去る爲に嘔むものをさ(機械の具)	巡回する(番卒巡查などの)ばら(魚の名)	みの、草衣	手にてなでさすること	數重なる、しばし又音シユ	1上聲及去聲	裏面の事情、内情、内幕	むしろ、いつそ	請求する、もとむる

鎖 <small>ソ</small>	瑣 <small>ソ</small>	鎖 <small>ソ</small>	起 <small>チ</small>	頭 <small>トウ</small>	拿 <small>ナ</small>	喉 <small>コウ</small>	以 <small>イ</small>	以 <small>イ</small>	朔 <small>ソク</small>
くさり	小さき、細々しき、些細なる	口の周圍に出来る腫物の名	錠前をかける、しばる	錠前、じやう	枷をかけて捕へる	錠前の口(錠穴)	凡て、全部、所	それ故に、然るが故に	其理由、わけ

スウ肅、訴、夙、朔、粟、セ(エヌ、森、ソ)嗽、縮、梭、蓑、孛、數、索、
 鎖、瑣、鎖、所朔、二〇七

梅	奶	枝	心	三	狂	泪	文	酸	月	望
梅	奶	枝	心	三	狂	泪	文	酸	月	望
青梅、梅の實	蒙古人の食料(牛羊乳を酸酵したるもの)	紅木、たがやさん	悲しむ、心に悲しみあること	すかんぼの類	高慢ちきななる	縁豆の汁	六ヶ敷四角張りたる	酸味ある、すっぱき、かなしき、だるき	一月の異稱	一日と十五日

不	盤	盤	計	可	賬	封	算	懶	
不	盤	盤	計	可	賬	封	算	懶	
計算が合はぬ、帳簿面が合はざる	計算の違者な人	糸紐を丸めたる鈕	人を批評する	思ひ寄せざる	可なり計算ふる、宜いことにしておく	勘定する、會計、計算する	占ふ、八卦を置く	算ふる、勘定する	力の抜ける、身體のだるき、だるき、こそ

身	口	隨	尿	雖	卵	瓣	蒜	了	不
身	口	隨	尿	雖	卵	瓣	蒜	了	不
身まはり、手まはり	口から出任せに言ふ	隨ふ、つきそふ	小便囊、膀胱	小便(せうべん)	然しながら、併し、けれども	蒜の玉	蒜の片	蒜の玉	算へきれぬ

心	遂	來	後	便	班	同	即	帶	心	手
心	遂	來	後	便	班	同	即	帶	心	手
思ひのまゝ、思ひ通りに	とげる、遂行する、徹する	金を得るに随つて費ふ	其後、そしてから後	隨意、都合次第、勝手に	隨後、そしてから後	附和する、賛成する、一しよに、共に	唯々諸々たること	隨後、都合次第、勝手に	其後、そしてから後	金を得るに随つて費ふ

髓(海)	頭腦(づなう)
歳	とし、年齢
口	とし、年齢(主にも獸畜などの)
數	とし、年齢
星	年廻り、星廻り(九星の)
杪	歳暮、歳末、年末、としぐれ
碎	砕く、こまかにする、細々とせる
嘴	口小言の多い人
貨	小さき品、零碎の品
米	粉米(こいめ)
穂	穂、ふさ
孫(子)	まご(男兒の)
損	孫娘(まごむすめ)
筍	損する、損をかける、そしる、けなす、ひやかす
集	人に迷 ばかりをかけて居る者のこと
搜	たけのこと
隼	雛鷄、ひなどり
刮	はやぶさ、小鷹
檢	搜す、搜索する、たづねる
拏	誅求する、しぼりとる
	搜索する、さがす
	搜索して捕縛する

餽	食の腐敗せる、飯又は食物のすえたる
飢	すえ臭き、腐れ臭き
颯	陳腐な話
叟	風の音、ざわく、ごうく
撒	老人、老翁
漱	ふるふ、ゆすぶる
色	口をそぐ
旗	酒をしたむこと
迷	いろ、又音シアイ上聲
	米國旗
	色情狂、(助平(すけべい))
澁	生殖器神細衰弱症
倒	しぶ、しぶき、しぶる
吐	齒が浮く(酸味などの爲に)
藥	しぶりはら(病)
齋	收斂藥、收縮劑
僧	吝嗇なる、けちなる
衣	僧侶、坊主
家	袈裟、ころも
松	僧侶、出家、坊主
香	まつ(樹の名)
	松やに

ソウイ髓、歳、碎、穂、ソウイ又孫、損、筍、隼、松、ソウイ色、澁、齋、ソウオン僧、ソウ松

ソウ搜、餽、颯、叟

塔	湯	子	花	油	松	快	懈	手	心的	緊
塔	湯	子	花	油	松	快	懈	手	心的	緊
松かさ(松の實)	鶏肉の叩きをへれたる汁	松かさ(松の實)	卵を土中に灑漬したるもの (浙江省松花の名産なり)	松やかに	ゆるき、しまりなき、ゆるむ	ゆるき、しまりなき、ゆるむ	ゆるき、しまりなき、ゆるむ	ゆるき、しまりなき、ゆるむ	ゆるき、しまりなき、ゆるむ	ゆるき、しまりなき、ゆるむ

通	綁	縮	動	官	鬼	死	信	行	送	聳	竦	
通	綁	縮	動	官	鬼	死	信	行	送	聳	竦	
餘裕ある、のびやかなる	放免する、繩をゆるめる	すくむ、ちぢみあがる	ふるへる	そびへる、そばたつ、そばやかす、そばたてる	送る、贈る、遣はす、くれる	役所へ送りつける	悪魔拂ひをする巫者	會葬する、送葬する	手紙をやる、通信すること	旅行を送る、見送りする		

情	終	親	親	親	子	殯	禮	誦	訟	棍	師
情	終	親	親	親	子	殯	禮	誦	訟	棍	師
恩に着せる	臨終に立あふ、死目にあふ	婚嫁當日の附添男連	同上の婦人連	同上	會葬者、送葬者	進物を贈る	よむ、誦する、音讀する	訴訟、訴へ事	三百代官、くじ師	訴訟代理人くじ師	

頌	讀	朝	磁	應	賽	誦	搭	上	答	答
頌	讀	朝	磁	應	賽	誦	搭	上	答	答
頌する、ほむる	宋朝(西紀九百六十年—千二百七十九年) 宋朝に燒きたる陶器	答へ、答ふる、返辭	同上	神佛へ願掛けの御禮參りをすること	そしる、ぐづ／＼言ふ、つぶやく、ことをいふ	加へる、乗る	加へる、添へる、増す			

識^シ 手^テ 箱^コ 界^{カイ} 放^フ 鋪^ポ 配^{パイ} 打^ダ 奔^{ペン}

一^一 一^一 (拉^ラ) 配^配 鋪^鋪 放^放 界^界 箱^箱 手^手 識^識

一^一 一^一 躬^{コウ} 下^ゲ 子^シ 子^ジ 上^{ジョウ}

男女が出来あふ、くつつく
兼業にする、本業の片手間に
する
二人で擔ぐ上箱をいふ
境界、境界を劃す
補足して支給すること
床板を張ること
交尾する、つるむ
ひきずる、スリッパなどを引
ずる
打つ、動詞の働らきを引出す
助動詞……より(前置詞)

子^子 一番打つ、一度叩く
腰を曲げて禮する

一^一 印^{イン} 野^ノ 眼^{ガン} 眼^{ガン} 圍^{ウイ} 開^{カイ} 開^{カイ} 開^{カイ} 高^{コウ} 跟^{ゲン}

一^一 印^印 野^野 眼^眼 眼^眼 圍^圍 開^開 開^開 開^開 高^高 跟^跟

頭^{トウ} 興^{キョウ} 鼻^ビ 算^{ソウ} 盤^{バン} 線^{セン} 盤^{バン} 頓^{トン}

一^一 番打つ、一度叩く
捺印する
しやくりする
露宿する
見まぢがふ、買ひかぶる、見
込ちがひする
見張りする
狩獵する、かりする
盤^盤 工夫をめぐらす
子^子 打あけて話すこと
興^興 をさます
ころぶ、ころび倒れる

滾^{コン} 橫^{コウ} 格^{カク} 坑^{コウ} 呢^ネ 卦^{クワイ} 官^{クワン} 工^{コウ} 個^コ 掃^{ソウ}

一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一

兒^エ 子^ジ 子^ジ 痘^{トウ} 司^{スイ} 盹^{トウ} 掃^掃

ころぶ、寝ころんで跳ねる
的^的 追剝(おひはぎ)
罫をひく(四角の格子罫を)
穴をほる(土に掘ること)
結び玉をこしらふ
しやくりする、しやくり
占ふ、八卦を置く
訴へる、訴訟する
仕事を中止する
兒^兒 居眠りする
掃除する、掃く

算^{ソウ} 算^{ソウ} 小^{コウ} 樹^{ジュ} 閒^{ケン} 食^{シキ} 哨^{シヤウ} 手^{シュ} 扇^{セン} 舒^{シュ} 水^{スイ}

一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一 一^一

盤^{バン} 算^{ソウ} 毛^{モウ} 兒^エ 式^{シキ} 身^{シン} 水^{スイ}

胸つもりする、心に打算する
そろばんを弾く
盤^盤 目前の小利のみを打算
すること
木の枝をおろす
的^的 乞食(家産を蕩盡したる)
食物を漁る、食を求むる
合圖の口笛を鳴らす
手まねする、仕方話しをする
こと
扇^扇、扇子を使ふ
背伸びする
水を汲みあげる

死	死	郷談	胎	探	車	架	價	住	糲	腔	攪
うち殺す、叩き殺す、撲殺する	田舎話しをする、田舎言葉で話す	腹胎する、子をおろす	さぐる、さがす	車を造る、車の歩みを止める	喧嘩する、争ふ	ねぎる、こぎる、(買物などを)とめる、やめる	糊を作る、糊をこしらへる	一致する、同意する	邪魔する、面倒をかける		

結	尖	前	酒	更	主	拳	群	種	噓	茶
結び玉をむすぶ	辨當を使ふ、中食する(旅行など)	前方へのめる(馬などが)	酒を買う	夜番する、時を報ずる(夜中)	相談する、互に意見を交換すること	拳をうつ	入り亂れて喧嘩する	交尾させる(馬などに)	さやく	茶を飲みに行く(妓樓へ)

着	醜	漿	春	磚	墜	趣	抽	簽	盆	柴
力を散して一生懸命に	糶を操ること(船の)	草造りの牛を叩く式(早く春の來るやうにと)	乞食する、貧乏となる	轆	茶化す、笑談にしてしまう	すゝり泣くこと	ハムの風味を嗅ぐこと	横路へはいる、間ちがふ	柴を刈る、樹を伐る	

戰	戰	戰	仗	吵	場	眼	頭	店	點	燈	頭
ふるへる、おのゝく	刃刀を外して傷ける、そりこむ、刃刀をすべらす	戦争する、たゝかふ	やかましくさはぐ	連枷(から竿)にて穀物を打ちおとす	帳簿、メ切る、結算する	向ひかせ	旅宿をもとむる、宿をとる	賄賂を使ふて官途につく	正月十五日燈籠に書きたる謎を解くこと	第一の、真先の、賭場のてら鏡	

洞	盹	聽	典	點	噫	雜	嘴	賭	彩
穴をあける(鼠など)	居眠りする	印章か捺す	聞く、問ふ、聽合せる	略を使ふ	しらべる、賄賂をつかふ	くさめをする、	的。人足、人夫、雜夫	辱しむる、口を打つ	ばくちする、かけする
									福引する、くじびき

鬧	哈	哈	呼	火	伙	黃	虎	飯	發	飯
爭ふ、さはぐ、まばれる	大笑ひする、笑ひ話にする	あくびする	いびきする、鼾聲	火をおこす	共同自炊する	夜に向けて出かける	大力の人、強い婦人	飯を器物に容るゝこと	派遣する、派出する、つかはす	食ひ廻りする(知己朋友の所などを)

發	靶	把	派	牌	板	虎	扮	包	辦	不
食事卓上に出すこと	射的、的を射ること	腕振へす、勢を見する	遣はす、やる	骨牌をする、かるたをもてあそびて賭博をする	答刑を行ふこと	諱。何事も忌憚なく言ひ出すこと	したくする、装束する、いでたつ	つゝむ、くるむ、梱包する	辦髪を編むこと	戦争又は喧嘩は出来ぬ

不	過	驚	磨	藥	牙	油	魚	爛	冷
喧嘩に勝てざる、競争に負けること	ごまかす、あざむく	時を告ぐる(鶏などが)	面倒をかける、邪魔する、うるさくする、手数をかける	白にて敷物を挽くこと	下しぐすり	齒を合せる、食物を食する	油を買ふ、油を買ひにゆく	魚を捕ること、漁獲すること	叩きこはす、めちやくにこはす

量	雷	播	落	阿	鞍	意	爺	烟	哥
相談する、協議する、打合す	雷が鳴る、雷鳴	拳術の技を闘はす	ひやかす(商店などを)	大なる、大きな、大に、甚だ	皇太子、皇長子	車 前清時代大官の馬車 大まかなる、粗大なる、大き やうなる	をち、だんな敬稱)	阿片	貴君、貴殿、君、足下

口	褂	姑	工	恭	功	共	估	嫂	衫	師
たら(魚の名)	長き上着、禮服の上着	長女、一番娘、姉むすめ	主要なる職工、棟梁	大便	九ヶ月の喪に服すること	合計、總計、メ高	着 大體大抵、大約、大概 姉さん、姉君、兄の妻に對する語	長褙袴、長上衣	料理人、板前	

手	手	手	舌	响	小	祥	限	行	肆	大
大家、手腕ある、贅澤なる	能筆の人、能文の人	脚 大威張りする	發音不明瞭の人	吉林省の土地測量尺(一畝三百六十弓)	長男、總領	三週忌	死去すること	崩去せる天皇	勝手な熱を吹きたてる	をば、父の兄の妻

堂	廳	差	眼	氣	家	家	姐	建	前	照
官衙の事務室	客室、應接室	死刑の執行者をいふ	總結算、大勘定	空氣、上品なる、應揚なる	世間、他人、皆々	兒 同上	長女、姉娘、又處女に對する敬稱	大の月小の月(三十日と二十九日の舊曆)	さきおと、ひ、一昨々日	滿洲に行はるゝ地券の一種

草	宗	莊	主	舅	青	醬	角	芝	髦	解
草	宗	莊	主	舅	青	醬	角	芝	髦	解
稲、わら	主要なる種類、重要なる	稲、米	新聞雑誌の主筆記者	妻の兄、義兄	藤紫色	醤油のたれ	座元、地位の高い人	ボツクス皮(靴に用ふる)	毛織の長外套、ロングコート、オパークコート	大便すること

弄	娘	頭	頭	端	都	肚	段	薑	帖	天
弄	娘	頭	頭	端	都	肚	段	薑	帖	天
大業なる、仰々しき、贅澤なる	をば、父の兄の妻	たら(魚の名)	燕、かぶら	大事件、大事	大抵、およそ	大勒、およそ	彌	勒	勒	大
										亮
										亮
										亮
										亮

糞	防	發	話	紅	湖	河	戸	後	號	呢
糞	防	發	話	紅	湖	河	戸	後	號	呢
大便、くそ、人糞	法則	的	容	非常に大なるもの、形	法螺話、誇張の言	緋色、あかい色	洞庭湖をいふ	黄河のこと	富豪、豪家、かねもち	明後日の次の日
										大口(取引、賣買などに用ふ)
										テンマーク國

賣	媽	葷	火	批	幫	擺	班	伯	報	父
賣	媽	葷	火	批	幫	擺	班	伯	報	父
おろしうり	父の兄の妻、をばさん	肉類の料理、なまぐさ料理	子	乞食小屋	大口の注文、纏まりたる注文	主要なる、多数の、大口の	大むばり、大手を振つてある	夫の兄	夫の兄	天地、天皇皇后
										文章語にて記したる新聞紙(大形の)
										を店長、支配人
										大なる、重要なる
										をば、父の兄の妻
										大業なる、仰々しき、贅澤なる

門 米 模 拇 牙 量 搖 洋 領 攪 料

門 富家、かねもち
米 米
模 様。誇張する、見張る
拇 親ゆび、拇指
牙 奥商(おくば)
量 怠け者、游民
搖 大威張りする、意氣揚々
洋 大銀貨(一回弗銀)
領 毛皮付の襟巻代用にするもの
攪 大地積の土地を獨占せる地主
料 およそ、大てい、大略、約

肉 綠 溜 郎 外 他 場 欠 架 鼻

肉 豚肉のこと
綠 純綠色
溜 一組の大團體
郎 長男、總領息子
外 嫁したる妹姉の長男
他 彼れ、あの人、彼等
場 損ふ、毀ふ、ひきずる
欠 落ちくづれる、崩壊する、こはれる
架 缺損、不足
鼻 おちる、衰へる、くづれる
びし、んこ鼻、ひしやげ鼻

濁 榻 揚 擲 踏 塔 勤 青 呆 子 毒

濁 しみる、にじむ、しみ透る
榻 臥床、寢臺の板
揚 石刷りする、拓本、法帖
擲 かはたそ
踏 ふむ
塔 たふ、す
勤 測量する、實測する
青 春日野外に散策する
呆 痴愚なる、馬鹿なる
子 馬鹿者、愚鈍
毒 悪しき、わるい、ひどい、悪辣なる

代 爲 購 塾 辦 子 信 水 道 領 日

代 代る、代理する
爲 代りになる、代理する
購 立替へて買ふ、代つて買ふ
塾 立替へる
辦 代理して處理する、代りて取扱ふ、代りに取計らふ
子 携帯する、をび
信 手紙を携帯する
水 水先案内人
道 道案内人、嚮導者
領 みちびく、案内する
日 雨 太陽が出て居ながら雨の降ること

夕 大、他、選、場、榻、揚、擲、踏、塔、夕、代、反、代、帶

貸袋	殆	大	戴	怠	兩	要	厚	詔	待
(借)	(死)	(夫)	(緩)	(天)					
貸す、寛假する、かんべんする	ふくる(總稱)	危篤なる、瀕死の	醫師、又音ター	忘る、なまける、怠慢なる	二三日待つ、兩三日滞在する	戴く、帽子などを冠る、眼鏡をかける	醫師、又音ター	危篤なる、瀕死の	ふくる(總稱)

胎	氣	頭	裏	裏	擡	擡	擡	胎	
款	氣	頭	裏	裏	擡	擡	擡	胎	
貨付金、貸方	はら、はらむこと	つわり(妊娠前の)	うぶ毛	生れつき精進物を好み食すること	富貴の家に生れて生來幸福なる人のこと	こけ、苔藓類	もたげる、かく、かつぐ	口論する、口いさかひする	ねあげする、價があがる

太	柱	基	照	臺	頭	頭	擧
歲	甚	甫	子	子	子	子	子
おだてあげる、もちあげる	行を改めて書く(敬意を表して)こと	車夫の掛聲、御注意、御免の意	臺、(器物の)、又尊稱	御照覽被下度候の意	待合、密會所、貸席	座頭、一座の立者	貴下のおざな(字)

魚	口	砍	斧	態	泰	平	夫	監
魚	口	砍	斧	態	泰	平	夫	監
みだりに、口にてくわへる	太刀の魚	刀の(はさき)	刀、双物の總稱	刀、齊然として少しも亂れざること	齊	みだりに、口にてくわへる	みだりに、口にてくわへる	みだりに、口にてくわへる

タイ待、怠、戴、大、殆、袋、貸、胎、苔、擡、台、太、泰、態、夕才、刀、叨、二二七

島	禱	倒	搗	愛	叨	鬼	亂	過	號	店	告	子
島	禱	倒	搗	愛	叨	鬼	亂	過	號	店	告	子
可愛がらるゝ	多言なる、饒舌なる、ぐづぐづいふこと	搗く、つきませる	つぶやく、ぐづぐづいふこと	攪亂する、騒がす、騒ぐ	建物などを買ふこと、又去聲	建物又は營業所を買取る	倒産する、破産する	商店を買取る	いのる、神佛に祈ること	しま	水中の)	

夷	謝	惱	乏	案	手	差	底	雜	兒	道	到	
夷	謝	惱	乏	案	手	差	底	雜	兒	道	到	
日本に對する惡口(排日者などか)	みち、道理、理屈、方法、逃ぶること	謝辭を逃ぶること	くやみを述ぶる(喪事に)	旅行より歸りし人にする挨拶	到着する、至る、...まで	法廷へ出頭する、事件に關係をつけること	受取る、落手する	着任する	つまり、結局	在蒙古の支那商人の手先		

頭	邦	子	草	猫	引	導	倒	步	灣	第	數
頭	邦	子	草	猫	引	導	倒	步	灣	第	數
徹底する、一貫する、有終の美	地。本場、地元、産地	いね	藁(わら)	盜賊、ぬす人、ぬすむ	蛋取眼のこと、キヨロく眼	みちびく、案内する	倒す、倒るゝ、又上聲	兒。一時を融通する	兒。次から次へと頼みまはる	一。尻から算へて第一番	

置	嚼	茶	車	眼	洞	霉	毛	了	溜	拘
置	嚼	茶	車	眼	洞	霉	毛	了	溜	拘
宙返りする、逆轉する	反芻(またがみ)する	茶をつぐ(茶碗に)	車を支へる	帳簿を附かけする	穴をあける(鼠などが)	不運なる、不仕合	頭。眞逆まにころぶこと	風が變ること、風向の變る	兒。凹凸、だんだら坂	てほりちる、きぐりだす、手に

逃 <small>トウ</small>	條 <small>テウ</small>	滔 <small>トウ</small>	溝 <small>コウ</small>	耳 <small>アル</small>
席 <small>シヤク</small>	子 <small>ツイ</small>	帶 <small>タイ</small>	子 <small>ツイ</small>	塞 <small>サイ</small>
席をはづす、缺席する	逃ぐる、はづす、逃亡する	組紐、組紐の帯	組紐、組紐の帯	耳垢をとる
				溝渠(どぶ)をさらふ
				井戸さらへする
				錢をとり出す(財布などより)
				鼻の穴をくぢること
				水の流るゝ音、滔々たる
				ひも、組紐

萄 <small>カウ</small>	陶 <small>カウ</small>	淘 <small>カウ</small>	桃 <small>カウ</small>	犯 <small>フアン</small>
乾 <small>カン</small>	鎔 <small>カウ</small>	養 <small>カウ</small>	氣 <small>キ</small>	米 <small>メイ</small>
葡萄の干したるもの、乾葡萄	陶治する、感化する	陶治する、感化する	米をとぐこと	小兒などの腕白なる、いたづらなる
				教育する、感化する
				三月の異稱
				正月に各戸の門口に貼りかへる吉祥の句
				桃色の書翰用箋
				桃色、淺紅色
				もゝ、桃の實
				逃亡囚人、逃走囚

套 <small>タウ</small>	要 <small>ヤウ</small>	厭 <small>ヤン</small>	飯 <small>ファン</small>	保 <small>バウ</small>	擾 <small>ヤウ</small>	人 <small>レン</small>	老 <small>ラウ</small>	兒 <small>エ</small>	衣 <small>イ</small>
衣 <small>イ</small>	兒 <small>エ</small>	老 <small>ラウ</small>	婆 <small>パ</small>	嫌 <small>シヤン</small>	人 <small>レン</small>	嫌 <small>シヤン</small>	人 <small>レン</small>	嫌 <small>シヤン</small>	衣 <small>イ</small>
上着、外部に着るもの	上おゝひ、外皮	嫁をとる、妻を娶ること	嫁をとる、妻を娶ること	邪魔する、面倒をかける	人に嫌はるゝ、いやな奴	嫌をとる、妻を娶ること	嫌をとる、妻を娶ること	嫌をとる、妻を娶ること	上着、外部に着るもの
				乞ひもとむる	保証をもとむる	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する
				乞ひもとむる	保証をもとむる	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する	かけとり、貸金を請求する

尾 <small>ビ</small>	衣 <small>イ</small>	拉 <small>ラ</small>	話 <small>ワ</small>	白 <small>ハク</small>	近 <small>キン</small>	問 <small>モン</small>	車 <small>シャ</small>	視 <small>シ</small>	褲 <small>ク</small>
尾 <small>ビ</small>	裳 <small>シヤン</small>	拉 <small>ラ</small>	權 <small>クワン</small>	狼 <small>ラン</small>	兒 <small>エ</small>	車 <small>シャ</small>	視 <small>シ</small>	褲 <small>ク</small>	褲 <small>ク</small>
書付尻、勘定尻	ひとへもの(衣)	單一なる、たい、一重の	連累とする、引合ひに出す	きまり文句、ありふれた話	追制、金儲けに手段を擇ばざるものをいふ	室より通ずる兩側の室	接近する、近づく、親近すること	車を馬につける(馬車の)	上袴、袴の上に穿く半袴
									有りふれたる

薄	帖	次車票	張	套車	思病	數	款	控	眼	眼
薄	帖	次車票	張	套車	思病	數	款	控	眼	眼
貧弱なる、虚弱なる	かきつけ、書出し	片道乗車券	ひとへ、一枚	一頭立ての馬車	片思ひの戀病	奇數	落款(一個捺したる)	告訴狀を提出する	片眼(めつかち)	一重まぶち

薄	菜	不	子	塵	担	寒	怯	青	敢
薄	菜	不	子	塵	担	寒	怯	青	敢
無味なる、貧弱なる	淡白なる料理	責任を負ふ、責に任ずる	淡白なる、あはき、あつさりせる	旅行歸りの人を招く宴	はたら(塵などを)	おのゝく、怖るゝ	臆病なる、小膽なる	胆汁、たんじふ	胆太くも(悪事を働く)

胆	耽	担	丹	担	子	延	担	丹	耽
胆	耽	担	丹	担	子	延	担	丹	耽
劇の役の種類、女形	但し、ただ、しかし	誕生日	たまご(各種の)	卵のから	宣眞燒付の鶏卵紙	卵の白身	卵の黄身	斗量の、又音シ一陽平	むさぼる、貪婪なる

タ又 耽、丹、擔、耽、担、淡、旦、但、誕、蛋、石、食

鑑 | | | | | | | | | |

下(シイ) 始(シイ) 堂(ダン) 即(チイ) 差(チイ) 家(チイ) 眞(チイ) 場(チイ) 頭(チイ) 不(チイ) 起(チイ)

今、目下、只今、いま
最初、はじめ
公判する、法廷を開く
すぐ、即座に、早速急に
役に就く、職務に就く
亭主、主人
まにうける、眞實と思ふ
即座に、其場に、其時に
頭のすぐ上
氣の済まぬ、申譯なき
太鼓などの音

黨(ダン) 黨(ダン) 當(ダン) 當(ダン) 檣(ダン) 蕩(ダン)

黨(羽) 黨(羽) 當(子) 當(子) 票(子) 舖(子) 頭(子) 死(子)

徒黨、なかま、同志者
遮る、とむる、ふさぐ
想像する、推量する、又陰平
及去聲
質物、質入れする、又陰平及
上聲
質が流れること
質草(しちぐさ)
質屋、質店
質札(しちふだ)
椅子の臺座、文書、記錄
記錄室、官房
道樂者、のらくら者、野良息
子、浪費者

湯(タン) | | | | | | | | | |

檢(チイ) 鍋(コ) 匙(チイ) 網(チイ) 蟻(ダン) 趨(ダン) 滌(シイ) 水(シイ) 渾(ホ)

しだらなき、我儘なる
汁、羹、又湯
豚肉を賣る露店
さじ、ちり蓮花の類
練絹、練緞子
かまきり(蟲の名)
蹴分ける 水を渡る
水を渡る(徒歩にて)
同上
不正の行爲をなす相手となる
こと
家屋建物の一種、堂閣

客(コ) | | | | | | | | | |

官(コ) 兄(シイ) 子(シイ) 弟(シイ) 池(チイ) 塘(ダン) 塘(ダン) 一(イ) 塞(サイ) 販(チイ)

婦人客
給仕、大官
從兄弟、いとこ(父側の)
妓樓、貸座敷
從姊妹、いとこ(父側の)
疏略にする、ごまかしのす
る
池、水池、六溜、堤
ふさぐ、拒ぐ、遮る
逃を張る
其場逃れの糊塗語
言を左右に托して支拂せざる
こと

タン 鑑、黨、檣、蕩、蟻、趨、堂、唐、棠、塘

糖	瓜	稀	薑	胡	棠	腔	躺	下
糖	瓜	稀	薑	胡	棠	腔	躺	下
砂糖の總稱、飴(あめ)	砂糖がけの瓜糖	砂糖蜜	砂糖漬の薑	果物に飴をかけたるもの	梨の一種	胸の中央部、口中	胸間聲、太き聲	横になる、寝ころぶ、寝る

倘	燙	瘡	泡	熱	輻	子
倘	燙	瘡	泡	熱	輻	子
若しも、若し或は	若しも、若し果して	若しも	酒などをあたためる、やけどする	やけど	アイロン、火熨斗	火ぶくれ

あつき、火傷する程の熱さ
湯桶、回、次、度
車軸、又蓋に通じ用ふ
遠路旅行用の驛車

知	古	曉	心	道	單	照	巧	覺
知	古	曉	心	道	單	照	巧	覺
知る、智識、承知する、管する、了解する	兒、ものしり、博識家	通曉せる、知り通ずる、あかるき	氣の知れる、心から知りあひなる、同じ心持の	知る、知れり、承知する	通知狀、しらせ書き	照會する、知らする	伶俐なる	感ずる、おぼゆる

蜘蛛	錯	支	應	使	架	取	着	錢	撐	
蜘蛛	錯	支	應	使	架	取	着	錢	撐	
蜘蛛の一種、みづ腫れの一	くも	おぼえちがひ、まちがふ	支拂する、つかふ、さへる	世話する、取あつかふ	使ふ、用ゐる、使用する	しつらへる(天幕、架などを)	子、外面をかざりてまじめらしき	小切手	金錢を支拂ふ	さへる、支持する

タン糖、棠、腔、倘、燙、薑、胡、子、知、蜘蛛、支

脂 <small>チ</small> 色 <small>ソク</small>	梘 <small>チ</small> 子 <small>ツ</small>	搯 <small>チ</small> 起 <small>チ</small>	鐵 <small>チ</small> 機 <small>チ</small>	路 <small>ル</small>	日 <small>リ</small>	用 <small>ヨウ</small>	票 <small>ビョウ</small>	付 <small>ツ</small>	子 <small>ツ</small>
	來 <small>ライ</small>				子 <small>ツ</small>	簿 <small>ボ</small>			
	あぶら、脂肪又口べに頬べにべに(胭脂のこと)	くちなし(植物)	支へ上げる、つきあがる	をる、はたををる	支線(鐵道などの)	日限をのばす	つかふ、用ゐる	小切手帳	支拂する、支出する

執 <small>チ</small>	字 <small>ジ</small>	江 <small>キョウ</small>	乎 <small>コ</small>	之 <small>チ</small>	岐 <small>チ</small>	枝 <small>チ</small>	隻 <small>チ</small>	肢 <small>チ</small>	芝 <small>チ</small>
	路 <small>ロ</small>	者 <small>シャ</small>	也 <small>チ</small>	指 <small>チ</small>	身 <small>シ</small>	豆 <small>チ</small>	麻 <small>チ</small>		
	曲りたる道、くねり道とる、つかさどる	浙江省のこと	これ 又俗語の「的」に當る 四角張りたる、儀式ばりたる	ちーくといふ音	五本より多き指、六本指	えだ、わかれ	獨身、一人身、ひとりつぼち	四肢、からだ、身體	しばくさ、ごま

省 <small>シヤン</small>	眼 <small>ガン</small>	直 <small>チ</small>	友 <small>ユウ</small>	法 <small>フ</small>	中 <small>チュウ</small>	照 <small>チョウ</small>	旗 <small>チ</small>	旗 <small>チ</small>	事 <small>シ</small>	應 <small>オウ</small>
			處 <small>チ</small>				人 <small>ジン</small>	會 <small>カイ</small>		
天子直轄の省、お膝元	驚くこと、叱驚せること	直ちに、まっすぐに、引つゞき	父の友人	司法部	公平なる	許可證、鑑札、免狀	信號手、旗振り	旗行列	貴下、又行列の前に建つるもの(旗差物の類)	世話する、取扱ふ

對 <small>タイ</small>	地 <small>チ</small>	質 <small>チ</small>	班 <small>パン</small>	日 <small>ジツ</small>	錢 <small>チエ</small>	宿 <small>シヨク</small>	值 <small>チ</small>	話 <small>ワ</small>	走 <small>ソウ</small>	働 <small>ドウ</small>
問ひに答ふる、たづねる	ちしつ、たち、性質	地しつ、性質、たち、問ふ	役日に當る、當番(官吏の)	當番、日直(にツちよく)	ねうちのある、價格相當なる	宿直する、とのみ、泊り番	あたる、該當する	直言する、直言	まっすぐに歩く、直ぐに行く	不愛想なる、偏屈なる

チー織、搯、梘、脂、芝、肢、隻、枝、岐、之、執、直、值、質

姪シ 女メ 職シ 名シ 植チ 魚イ 指チ 手シ 項シ
(子) (兒) (甥) (めい) 職務、官職、職業
 職務の名稱、名譽稱
 官職名を書入れたる名刺正式
 の名刺
 植うる、栽培する
 さば
 ゆび、(陽平) さし示す、指示
 する上聲
 つめ(爪)
 手まね足まねにて話す
 一定せる収入、確實の収入

紙チ 只チ 撥チ 房フ 頭ト 頭ト 甲カ 啞ダ
(命) 盼ハ 不フ 契キ 小コ 意イ 理リ 旨チ (意)
 濟ジ 的テ 旨(むね)、意見、意思
 ぬいとり
 治むる、治療する、治癒する
 をさむる、管理する
 至つて、極めて、無上の
 親切に、心の限りを盡せる
 極めて小さき、最小なる
 極めて親密なる間柄
 至つて悪き、最悪なる、極め
 て下等なる
 希望の至りに堪へざる
 一命にかかはる、命を終る

積チ 止チ 燃ニ 皮ビ 牌パイ 錢チ 張チ 殼コ 煙エン
(棘) 住ヂ 息シ 子コ 襦ジュ
 紙巻煙草、シガレット
 紙の厚き表紙
 紙のこと
 紙の錢(喪儀に用ふる)
 かるた
 書籍などの表紙
 紙より、勸世より
 たゞ、止める、止まる
 やめる、とめる、中止する、
 やすむ
 止むる、とめる、やむ
 いげら、きこく(樹)

紙チ 只チ 撥チ 房フ 頭ト 頭ト 甲カ 啞ダ
(命) 盼ハ 不フ 契キ 小コ 意イ 理リ 旨チ (意)
 濟ジ 的テ 旨(むね)、意見、意思
 ぬいとり
 治むる、治療する、治癒する
 をさむる、管理する
 至つて、極めて、無上の
 親切に、心の限りを盡せる
 極めて小さき、最小なる
 極めて親密なる間柄
 至つて悪き、最悪なる、極め
 て下等なる
 希望の至りに堪へざる
 一命にかかはる、命を終る

チ一姪、職、植、紙、指、只、紙、止、積、旨、滯、治、至、致

制 ^チ	台 ^{タイ}	志 ^チ	擲 ^チ	誌 ^チ	智 ^チ
制する、とどめる	官錢、穴あき錢、厘錢 前清時代の總督をいふ	こころざし、意志	意向、目的 なげる、抛る、投出す 同上	しるす、記したるもの 智識、智慧	機智、頓智 明智なる、あきらかなる、わかる
置 ^チ	辦 ^チ	房 ^チ	固 ^チ	銷 ^チ	病 ^チ
置く、備付くる、買取る	買取る、備付くる 同上	家を買入る、	とどこほる、滯滞すること 頑固なる、融通の利がさる	商品の賣行がわるいこと 秘結、便秘、滞りのある病	やく、あぶる(火にて) 白首、淫賣婦 製造する、作る

瘡 ^チ	窰 ^チ	綴 ^チ	瘧 ^チ	贊 ^チ	喫 ^チ	虧 ^チ	素 ^チ	食 ^チ
瘡、じ(病)	さまたげ、故障、妨ぐる 緻密なる、こまかき、こみ入りたる	あざ、ほくろ	東修(教師に對する)	先生への謝金	食する、たべる、食ふ	虧見す(損失を來たす)	精進物を食すること	食物、食事
香 ^チ	穿 ^チ	啞 ^チ	情 ^チ	醋 ^チ	喝 ^チ	飽 ^チ	不 ^チ	不 ^チ
結構なる、工合よき 衣食のこと、生活のこと	むせる(食物にて)、こと 買収する、(進物の爲に)	嫉妬する、やきもちをやく	賭 ^チ 食ふ飲む買う打つ(道樂)	飽食する、満腹となれること	食べられぬ(食物が黒しき等の爲)	食べ慣れざる、食べつけぬ	堪え得ざる、我慢し得られぬ	食べて腹工合の悪るき

瘡、瘧、窰、誌、智、置、滯、灸、雄、製、痔、窰、綴、瘧、贊、喫、虧、素、食、不、不、不、不、飽、喝、醋、情、啞、穿、香、製、雄、灸、病、銷、固、房、辦、買、不、不、不、不、飽、喝、醋、情、啞、穿、香、製、雄、灸、病、銷、固、房、辦、買、不、不、不、不、飽、喝、醋、情、啞、穿、香、製、雄、灸、病、銷、固、房、辦、買、不、不、不、不、飽、喝、醋、情、啞、穿、香、製、雄、灸、病、銷、固、房、辦、買

痴(癡) 鴉(鴉) 味(的) 修(磨) 糲(糲) 力(力) 勞(勞) 墨(墨) 不(不) 不(不)

癡(癡) (鴉) (的) (磨) (糲) (力) (勞) (墨) (不) (不)

癡愚なる、白痴
ふくろう
聲(一)ちいと一と聲
目やに、目糞
取る紙
油などの汚點となりたるを吸
兵士、給料生活
獨立自活すること
奉公する、人に使はるゝ
吸取紙
食べきれざる(餘り多くて)
去(去) 食べても咽喉へ通らぬ
下(下) 了(了)

匙(匙) 池(池) 答(答) 馳(馳) 遲(遲) 累(累) 子(子) 長(長) 笑(笑)

(子) (子) (杖) (驛) (慢) (累) (子) (長) (笑)

白痴、ばか
ばかわらひする
馬齡を重ねたりといふ意味の謙詞
馬鹿者
厄介者(白謙語)
時をおくらせる、時間のおくる
馳する、速く歩む
飛脚、宿次ぎ人足
答刑にて打つ答
いけ、貯水池、つゝみ
さじ、又音シ去聲

赤(赤) 齒(齒) 侈(侈) 耻(耻) 頭(頭) 杖(杖) 尺(尺)

身(身) 費(奢) 心(心) 恥(恥) 頭(頭) 杖(杖) 尺(尺)

身(身) 費(奢) 心(心) 恥(恥) 頭(頭) 杖(杖) 尺(尺)

はだか、裸體のこと
赤き、赤色、又高色
齒、年齢
むだつかひ
おこり、贅澤、奢侈
心に恥づる、廉恥心
恥辱、はぢ
反物屋、呉服店
規則正しき、整然たる
ものさし、竹杖
ものさし、寸尺

斥(斥) 叱(叱) 翅(翅) 勅(勅) 筋(筋) 體(體) 脚(脚) 金(金)

革(革) (勝) (勅) 授(授) 木(木) 體(體) 脚(脚) 金(金)

純金、純分の十分なる金
はだし、足袋を穿かざる
はだか
たがやさん、又蘇木(すはう)
命令する、いひつける、命ずる
命令にて授くる、任命する
勅語、詔勅、天子の語
つばさ(鳥類の)
叱責する、しかる
排斥する、しりぞくる
免職又は免官にする

チ一侈、味、鴉、遲、馳、答、池、匙、尺、耻、侈、齒、赤、筋、勅、翅、叱、斥

茶 子 手 頭 又 屏 話 嘴 紙 手 水 舌

さして口、中途へ差出る
水を渡る
關係する、かゝりあひ
書籍の入れ紙
差出口、中途に口を出す
差出口(さしでぐち)
ついたての一種
交叉する
腕ぐみする、手を組む
婦人の髻の名
茶(總ての茶を稱す)

錢 青 鏡 室 食 師 缸 膏 館 葉 役 子

給仕、きふじ
葉茶
茶を飲んで話しあふ場所
阿片烟の中毒を緩和するもの
茶かめ、茶入缸
製茶の技師
茶葉子、茶うけ
娼樓の一種
色めがね
オリーブ色
家屋借入の時家主に贈る酒手の如きもの

察 査 座 末 悶 房 戸 船 尖 磚

磚茶、練瓦形の茶
旅中茶店にて茶を飲むこと
茶盆の類
製茶業者
茶を飲む室
急須の類
粉茶、茶の粉末
茶館の座席
差押へする(財産などを)
視察する、しらべる、觀察する、査と通じて用ふる
査問する、しらべる

鉦 不 粉 核 訪 奪 存 找 看 考 子 掉

試験する、考試
視察する、檢分する
尋ねる、査める
しらべて預かる
調査決定する
たづねる、探る、捜す
しらべる、とりしらべる
こする、ふく、又音ツア
おしろいをつける
拭いても落ちざる
肉刺(フオーク)の類

岔	道	杖	禪	詫	齋	側	房
岔	道	杖	禪	詫	齋	側	房
分れ道、まちがひ	枝路、わかれ道	枝また、また	猿股の類	不思議なる、訝しき	とき、寺院の食事	巡拜者(寺院の)	寺院の食事をする場所
							そば、そばたてる、傍ら、ツ
							横臥する
							側面の建物、姿

稜	摘	印	果	跨	給	借	帽	宅	第
稜	摘	印	果	跨	給	借	帽	宅	第
片寄りたる、傾きたる部分	横顔、顔の側面	摘む、とる	免職する、免官する	果物をもぎとる	時借りする、時貸しする	同上	時借りする、一時借り	帽子をとる(脱ぐこと)	邸宅、大きな邸、貴人の邸宅
									同上

門	擇	手	對	窄	債	家	戸	票
門	擇	手	對	窄	債	家	戸	票
同上	えらむ、又音ツ(オ陽平)	賣残りの品	ひまを見て	せまき、狹隘なる、究屈なる	海峡	せまくるしき	債務、債權、借財	債権者
							債務者	債券

チア岔、杖、詫、チアイ、齋、側、摘、宅、擇、窄、債、差、拆、釵

差	使	派	人	拆	開	信	洗	字	房	釵
差	使	派	人	拆	開	信	洗	字	房	釵
職務、官公職又音ツ、チア	役目、職務	職務を以て差遣する	小役人、官公吏	くだく、ばらばらにする	手紙などを破りあけること	手紙をあける(開封する)	細かに離して洗ふ(衣服などを)	字を分析して占ふ、字判断	家屋を毀す、建物を取崩す	飾身具(婦人の)

柴	頭	火	米	魚	豺	跳	招	引	考	生
たきい、まき	木炭のこと、雜木炭	薪、たきもの	生活必需品	乾魚、ひもの	さいらう、おムかみ	踏みつける、又音ツ、ツア	招く、呼ぶ、募集する	引きつれる、招待する	試験を受ける人を募る	學生募集

帖	租	脏	罪	募	搖	認	昭	君	忠	召
引札、びら(廣告の)、招待状 借受人を募集する(土地家屋 などの)	脏品を吐出す(白状して)	白状する、服罪する	募集する、召募する	ほらを吹く、大言壯語する	白状する、自白する	あきらかなる	支那婦人の額あて	忠死者を祀れる廟	召す、よぶ、まねく	

見	盤	朝	著	意	急	驚	匪	忙	雨	落
調見さす	店の株を譲り渡さむとする	あさ、早朝、又陽平有氣	著明なる、あらはる、あらはす、せしむる又音チヨ	注意する	氣をもむ、あせる、焦慮する	驚く、びつくりする	著名の土匪	あわてる、氣をあせる	雨にあたる、雨にあふ	決定する、落着する

兒	涼	人	燭	不	爪	找	事	窟	岔	錢
方法、しかた、工夫	風邪にかゝる、かぜをひく	人を行かしむる	火をもやす、火をたく	火がもえつかぬ、たきつかぬ	摘みとる、野菜を摘む	たづねる、さがす、かへす	職業をさがす	あらをひろう、缺點を捜す	同上	つり錢、つりをやる

チアイ柴、豺、跳、チアオ招、昭、召、朝、著、燭、爪、找

願	應	照	兆	棹	櫃	單	還	補	不	著	了
願	應	照	兆	棹	櫃	單	還	補	不	著	了
願	應	照	兆	棹	櫃	單	還	補	不	著	了
願	應	照	兆	棹	櫃	單	還	補	不	著	了
願	應	照	兆	棹	櫃	單	還	補	不	著	了

臉	辦	樣	山	批	發	扣	拂	直	舊	牆	相	管
臉	辦	樣	山	批	發	扣	拂	直	舊	牆	相	管
臉	辦	樣	山	批	發	扣	拂	直	舊	牆	相	管
臉	辦	樣	山	批	發	扣	拂	直	舊	牆	相	管
臉	辦	樣	山	批	發	扣	拂	直	舊	牆	相	管

料	兌	超	抄	寫	家	書	近	吵	鬧
料	兌	超	抄	寫	家	書	近	吵	鬧
料	兌	超	抄	寫	家	書	近	吵	鬧
料	兌	超	抄	寫	家	書	近	吵	鬧
料	兌	超	抄	寫	家	書	近	吵	鬧

潮	巢	窩	濕	汗	煙	腦	長	落	朝	上
潮	巢	窩	濕	汗	煙	腦	長	落	朝	上
潮	巢	窩	濕	汗	煙	腦	長	落	朝	上
潮	巢	窩	濕	汗	煙	腦	長	落	朝	上
潮	巢	窩	濕	汗	煙	腦	長	落	朝	上

チア才找、罩、棹、兆、照、抄、吵、巢、潮、朝

沾 <small>チアオ</small>	占 <small>チアオ</small>	票 <small>ピョウ</small>	關 <small>コウ</small>	鈔 <small>チアオ</small>	糊 <small>ホウ</small>	勺 <small>シヤウ</small>	炒 <small>チアオ</small>	陽 <small>ヤン</small>
(課)	本	票	關	鈔	糊	勺	炒	陽
うるほふ、かふむる	寫本	紙幣に代用する手形	支那内地の税關	鈔寫する	蒙古人の常食、イリ粟	やきこがす	金勺子	南むき、日に向ふこと いる、あぶる

展 <small>チアオ</small>	瞻 <small>チアオ</small>	毯 <small>チアオ</small>	粘 <small>チアオ</small>	手 <small>シヨウ</small>	光 <small>コウ</small>
展(布)	瞻	毯	粘	手	光
仰瞻仰	望	子毯	連	貼	手
名聲を仰慕せること ひろげる、ひらく	望見する、希望する 見る、のぞむ	毛織の敷物、絨毯の類 毛布、ケット	毛布の類	糊にてはる、ねばしつける のりにて貼りつなぐ(紙などを)	關係する、手をつける

頭 <small>トウ</small>	起 <small>チ</small>	住 <small>ヂ</small>	鏡 <small>キョウ</small>	臺 <small>ダイ</small>	穩 <small>ウエイ</small>	斬 <small>チン</small>	眉 <small>メイ</small>	期 <small>キ</small>
頭	起	住	鏡	臺	穩	斬	眉	期
驛、宿場	とどまる、立つ	立ちとどまる	立ちとどまる	立かじみ、化粧鏡	プラットホーム(汽車の)	しつかりと立ちとどまる	しつかりと立ちとどまる	延期する、期限をのべる 愁眉をひらくこと 斬る、斬罪に處する さかづきの類 驛亭、驛、立つ

滿 <small>チアオ</small>	費 <small>フイ</small>	房 <small>ファン</small>	棧 <small>チアオ</small>	綻 <small>チアオ</small>	留 <small>リウ</small>	署 <small>シユ</small>	行 <small>シン</small>	暫 <small>チン</small>	不 <small>フ</small>	不 <small>フ</small>	住 <small>ヂ</small>
滿(新)	費	房	棧	綻	留	署	行	暫	不	不	住
まあたらしき、極めて新らしき	倉敷料	倉庫、貨物庫	倉庫、旅店	ほころびる、縫目がとける	一時滞在する	臨時に、臨時の、一時的の臨時代理する	しばし、少時の間、臨時	しつかりと止まられざる	止まり得ざる	しつかりと止まられざる	止まり得ざる

チアオ 炒、鈔、チアオ 占、沾、毡、瞻、展、斬、臺、站、暫、綻、棧、溢 二五九

估 ^{チアス}	便 ^{ビエス}	戰 ^{チアス}	策 ^{ツツ}	攪 ^{チアス}	糖 ^{チアス}	假 ^{チアス}	槍 ^{チアス}	星 ^{チアス}
占むる、せしむる	自分の都合の良いやうにする	戦ふ、戦争、ふるへる	戦術、兵法	ひたす(液體の内に)	まぜる、かきまぜる	量目を増す爲に不正の混合物を入れること	ごた／＼する、混亂なる	虚言をまぜる
								箒星(はうきぼし)

扶 ^フ	和 ^ホ	饑 ^{ツツ}	懶 ^ラ	纏 ^{チアス}	住 ^{チアス}	繞 ^{チアス}	禪 ^{チアス}	心 ^シ
たすける、扶け起す	かきまぜる、攪拌する	口いやしき、食物を食ふ	口いやしき人のこと	食べては怠けること	まとひつく、まつはる	引からまる、まとひつく	同上	せみ
								佛教の、心しづかなる
								心のおちつける、心、静かなること

經 ^{チン}	諂 ^{チアス}	産 ^{チアス}	業 ^チ	戶 ^ホ	鏟 ^{チアス}	識 ^{チアス}	眼 ^{チアス}	口 ^{コウ}	結 ^{ケツ}	舌 ^{コウ}	狂 ^{コウ}	李 ^サ	四 ^ス
佛教の文	こびへつらふ	出産する、物産の出づる	財産、資産	女陰	十能(じうのふ)の類	識言、豫言	張りひろげる、ひらく	開いた口が塞がらぬ	大ぼらを吹く	権兵衛太郎兵衛			

皇 ^{ホウ}	羅 ^ラ	程 ^{チヤン}	彰 ^{チヤン}	長 ^{チヤン}	大 ^{ダイ}	進 ^{チン}	錢 ^{チン}	瘡 ^{チヤン}	房 ^{フヤン}	醜 ^{チウ}
狼狽する、あはてる	世話焼く、いろ／＼心添する	規定、規則、條例	あきらかにする	成長する、のびる、又陽平有氣音	成長する、そだつ、大きくなる	進歩する、すゝむ	値上げする、價格騰貴	風呂か出来る	長男、統領	かびが生へる(食物などに)

チアア又估、戰、糖、攪、饑、禪、禪、禪、諂、産、鏟、識、チアン、眼、章、彰、長、二六一

毛	掌	櫃	尺	帳	尾	單	主	情	帖	
同上	掌理する、司る	支配人、營業の管理者	支配人、番頭	棟梁(大工などの)	帳簿、會計、計算	帳尻、勘定尻	勘定書、計算書	貸主、債權者	商店などの信用程度	請求の書出、請求書

目	帳	仗	丈	夫	母	人	量	子	帳	
債務、かり、借財	ふくれる、膨脹する	腹が張つてたまらぬ	たよる、よる、依頼する	をとこ、又尺度の稱	夫(をつと)、大丈夫	しうとめ(岳母)	しうと、長老者	測量する(土地を)	まく、天幕	テント、天幕

漲	價	潮	行	落	打	罪	娼	優	昌	莒
みなぎる、増す、ふえる	價格が騰貴する	満潮になること	相場があがる	相場の高下、あがりさがり	むち、棒、笞打つ	笞刑	娼妓、妓女	娼妓役者小役人兵士(悪い人間の總稱)	さかんなる、隆盛なる	しやうぶ(草)

嗜	鮮	工	温	款	隨	經	久	會	不	
なめる、味ふ、食べ試みる	初物を賞玩する	平常、常に、ふだん	復習する、温習する	定備の人、又は職工	經常費	從者、隨行者	平生守るべき道	久しく、ふだん、しよつちう	通常會	再三、常に、しよつちう

チアン掌、賬、帳、仗、丈、帳、漲、杖、娼、昌、莒、嗜、常

命(命) 償(償) 場(場) 規(規) 面(面) 夜(夜) 工(工) 生(生) 吁(吁) 行(行)

命を償ふ
はらわた、心、心情
ところ、場所
試験場の規則
やうす、ありさま
長き、又ト聲無氣音
死去すること
常備の人夫又は職工
落花生
嘆、嘆息すること、なげく
新聞廣告の長き行

星(星) 河(河) 主(主) 毛(毛) 圓(圓) 廠(廠) 地(地) 懷(懷) 亮(亮) 做(做)

星
天の川
久しい間の花客(とくる)
長髮賊のこと
楕圓形
直隸省滄州の西北にあり
廣場、工場置場など
場所、置場
打あける、思ふた事を話すこと
あかるき、愉快なる
ひろく、とせる、ひらける

開(開) 車(車) 臉(臉) 暢(暢) 唱(唱) 戲(戲) 曲(曲) 柳(柳) 啞(啞) 倡(倡)

戸をあけ放つ
荷車、大車
片硝子の懐中時計
のびやかなる、心地よき
賣れよきの良き
唄ふ、となへる、うた
劇、歌劇
曲を唄ふ、うたをうたふ
柳子曲をうたふ
叮嚀なる返じ、へ、い
となへる、賛同する

辦(辦) 亂(亂) 諷(諷) 刺(刺) 饑(饑) 機(機) 鍋(鍋) 心(心) 器(器) 巧(巧)

創設する、創立する
反亂を企てること
そしる、けなす、悪口する
そしる、悪口する
饑饉、うえる
饑饉年、凶年
機關、機密なる、機會、はた
蒸汽機關
變詐の心、利口の心
機械類一切の稱
機敏なる、巧みなる

チアン 償、場、長、廠、做、暢、唱、倡、子イ、機、饑、機、鍋、心、器、巧

筒^ト 激^キ 績^シ 要^ヤ 房^フ 倫^{リン} 辯^ビ 頭^{トウ} 軸^{チュ} 杼^{シュ}

子^ツ 機のをさ(はたの) 機械の軸、樞要の地位 機の織つけ 巧妙なる話振り 機敏なる、利巧なる 機關室、はやをりば 秘書課 事績、ことがら 功勞、成績 激する、激せしむる、煽動する、はげしき ポンプ

稽^キ 嘴^{ツイ} 叫^{ケイ} 皮^ヒ 盲^{マン} 毛^{モウ} 絲^ス 冠^{クワン} 眼^{ガン} 雞^キ 發^フ

嘴^{ツイ} 斧^フ 疥^{ケイ} 官^{クワン} 子^ツ 發^フ 發奮する、奮激する とり、にはとり そこまめ、魚の目 とさか(鶏の) 鶏肉の細く刻みたるもの 小役人のこと とり目、夜めくら 磨^ゲ とりはだ 夜明け近き頃、一番鶏頃 つるはし かんがへる、しらべる

核^{カク} 類^{ライ} 肌^キ 擊^キ 几^キ 積^{シキ} 摺^ソ 壓^ヤ

監査する、調査する 首をうなだれる(愁傷の容) はだ、皮膚 男根の俗稱 撃つ、攻撃する 手をうつ、拍手すること 小机、小さきつくえ テーブル、机の總稱 積む、ためる、貯蓄 寄せあつめる、澤山集める 推積する、山と積む

汲^キ 基^キ 筭^{サン} 觔^{キン} 跡^シ 亂^{ラン} 啣^{ケン} 磯^イ 吉^{キチ}

址^シ 水^{スイ} 根^{ケン} 角^{カク} 迹^シ 啣^{ケン} 咕^ク 磯^イ 吉^{キチ} くむ、水を汲む 根本、基本、もと 土臺、基地 み(竹に編みたる) つの づの、隅(すみ)、かど あと、跡 占ふ、豫言する 咕^ク つぶやく音、ぐづく言 いそ、濱邊 良き、善良なる

(チイ績、激、雞、稽、肌、擊、几、積、波、基、箕、觔、跡、亂、啣、磯、吉)

急 水	極 處	或 早	即 午	利 地	省 地
急流	極點、極端、最後 急なる、急に、焦る	或は、若しくは 極點なる、極めて、極度の 極點、極端、最後 急なる、急に、焦る	早速、直ちに、即時 或は、若しくは 極點なる、極めて、極度の 極點、極端、最後 急なる、急に、焦る	正午、まひるどき 即時、立どころに、早速、直 ちに	吉林省のこと 墓地 陵墓 五んぎの良き 即時、立どころに、早速、直 ちに
級 階	亟 務	疾 速	早 筭	及 格	死 數
階級、位階	急務、なるべく速く	早速、はやく はやき、はやく、とく、速か に、直ちに すみやかに、はやく、はやき 急務、なるべく速く	早速、はやく 女子の妙齡になれる	及ぶ、及第する、至る 及第すること としごろになる、十七八歳に なること	忙しき、急迫せる 焦悶して死ぬ、死ぬ程氣がも める 及ぶ、及第する、至る

爛 奶	不 脚	擠 脚	啞 子	稷 子	籍 貫	鎮 貫	集 鎮
爛(ラマ)	不(フ)	擠(チ)	啞(カ)	稷(リ)	籍(コ)	鎮(チ)	集(シ)
押しつぶす	動 乳をしぼり出すこと おしあつて動き得ざる	脚 おす、究屈にしめつける 足をくふ(靴などが小さい爲 に)	啞 おしあつて動き得ざる	拉 ひる 拉(ラ) 隅から隅まで	原籍、身分、族籍 ひる	町、大村、宿場 原籍、身分、族籍 ひる	集まる、集むる 市(いちば)
記 性	鯽 魚	脊 梁	乎 乎	幾 乎	工 工	的 慌	眉 弄
記憶、ものおぼへ	ふな 記憶する、おぼへる記す	ふな せなか、梁は北京地方にてニ アンと發音す	ふな ほとんど、も少して… ほとんど、も少して… 何時(いつ)、いつ頃	ほとんど、も少して… ほとんど、も少して… 何程(いづ)、いつ頃	どれ程の仕事 ほとんど、も少して… ほとんど、も少して… 何程(いづ)、いつ頃	究屈でたまらぬ 幾何、何程、ほとんど どれ程の仕事 ほとんど、も少して… ほとんど、も少して… 何程(いづ)、いつ頃	目ませして話すこと 究屈でたまらぬ 幾何、何程、ほとんど どれ程の仕事 ほとんど、も少して… ほとんど、も少して… 何程(いづ)、いつ頃

チイ即、極、急、及、疾、亟、級、集、籍、稷、啞、擠、幾、脊、鯽、記

室	帳	清	錯	得	不	意	放	交	賣	
書記、かき役	貨賣する	明瞭に記憶すること	おほへちがへ、記憶の誤り	おぼえ、記憶	明瞭には記憶せざる、記憶がたしかならぬ	寄せる、つかはす、送る	心を寄する	預けおく、あづける	交付する、差上る	賣捌方を委託すること

計	開	款	官	點	忌	口	歳	酒	季	指
はかりごと、計る かぞへる	記、おぼえ、扣	振替勘定の證據金	會計官、經理官	しらべる、數を計へる	いむ、たちものする(禁忌)	食物をたつ	禁忌の年	禁酒すること	季節、時候	小指(こゆび)

年	濟	祭	酒	竈	寂	技	緝	繼	故	
年末、末年	救濟する、すくふ	良所	妓女救濟所	まつる、祭祀	官名(祭祀を司るもの)	かまどまつり(陰曆十二月二十三日の行事)	さびしき、寂寞たる	技術、わざ、技術の巧みなる	捕縛する、逮捕する	つぐ、繼續する、まゝなる

室	配	既	繫	紀	棘	人	手	拮	
同上	後妻	既に、もはや、したる以上	つなく、つながらる、結び目、又音(シイ)	しつかりと結びたり	すべりむすび(紐帯などの)	しるす、紀錄する、文書	いばら、いばらのとげ	父母の喪に居る者の自稱	關係する、かゝりあふ

(子イ寄、計、忌、季、濟、祭、寂、技、緝、繼、既、繫、紀、棘、拮)

劑ヂイ 藥劑
 妓ヂイ 妓女(娼妓藝妓の總稱)
 嫉ヂイ 嫉妬すること
 際ヂイ 時、…に際し、…に當り
 蹟ヂイ あと、跡に通ず
 展ヂイ 木履、はきもの
 警ヂイ 鬻(ホウ) 鬻(まげ)、鬻の名
 七チ 七、七つ
 手シヨウ 何事でもやる、八細工な
 嘴ツブ 脚カウ 脚カウ、忙しき
 八ハ 舌シヤ 口うるさき、お喋舌り
 成チヤン 七八分通り、七八割

妻ヂイ 妻、女房
 兒アル 小シイ 家族一同のこと
 涼リヤン さびしき、ものすごき
 妻ヂイ ものすごき、すごき
 悽ヂイ 「すむ、とどまる、とまる
 樓ヂイ うるし、ペンキ
 漆ヂイ 漆器、塗物
 咬ヤウ 漆かぶれ(病)
 人リヤン 漆かぶれ(病)
 期ヂイ 期日、期限、喪
 服フク 一年間の喪に服すること
 票ビヤウ 約束手形

欺チ 一個月、其月
 侮ウ あざむく、詐欺する
 生シヤン 人を馬鹿にする
 心シン ごまかす、あざむく
 哄ホン 人をだます精神、悪心
 負フ あざむく、馬鹿にする
 壓ヤ 同上
 湖コ 人をごまかす、瞞着する
 茶チャ 茶を出す、茶をいれる
 噎チヤ ささやく、耳元に話す
 聾チヤ 整理する、修理する

齊チ そろへる、ひとしき、とよの
 帳チヤン へる、そろふ
 全チユウ 決算、總勘定する
 恒ホウ 取揃ふ、まとまる
 實シヤン 美少年のこと(隱語)
 棋キ 其の實、實際に於ては
 基キ ご、將棊
 子シ 圍碁の形勢、盤面の狀況
 祈シ 碁石のこと、こま
 雨ウ いのる、雨乞すること
 帶タイ へそ、へそのを
 奇キ 奇妙なる、めづらしき、不思議なる

(チイ)劑、妓、嫉、際、展、鬻、七、妻、悽、樓、漆、期、欺、訶、噎、聾、其、基、祈、奇

昂^{アウ} 巧^{チウ} 細^{チウ} 哇^{チウ} 騎^{チウ} 岐^{チウ} 祇^{チウ} 旗^{チウ}

暴騰する、あがる
巧みなる、珍らしき
缺乏する、不足になる
田畑のあぜ、うね
乗る、跨がる
日和見黨
割印、契印
神祇、又々
また、わかるゝ、わかれ路
ことなる、かはる
はた、前清の旗人

起^チ 民^{ミン} 地^ヂ 號^{ヘウ} 意^イ 工^{コウ} 槓^{カン} 根^{ケン} 首^{シュ} 手^{シュ} 誓^シ

族人と普通漢民
族人の土地
旗じるし
起る、はじめ、おさまる
珍起する、首唱する
仕事をはじめ、工事に着手する
喪式を出す、出棺
はじめ、最初
はじめ
手を下す、拘摸(すり)
誓を立てる

响^{シヤン} 先^{シヤン} 價^{チヤ} 錢^{チヤ} 更^{チヤ} 科^{チヤ} 服^{チヤ} 横^{チヤ} 貨^{チヤ} 貨^{チヤ} 火^{チヤ}

ひるねして目醒める
はじめ、最初
最低價格
金を引出す
初更(午後九時)
課税する、税をとる
忌あげ
ゆする、横着をする、ごまかす
荷あげする
荷揚狀、送り狀
のろし、信號砲

駁^{ボク} 賊^{ツァク} 頭^{トウ} 碼^マ 名^{メイ} 毛^{マウ} 運^{ユン} 敢^{カン} 結^{キエ} 伏^{フツ} 乞^キ 訖^キ 豈^チ

積かへる、積荷を卸す
贓品をとる、贓品を出す
はじめ、最初
計算の起點、計數單位
名をつける、命名する
おそるゝ、恐怖する
運ぶ、運搬する
豈に、如何にして
どう致しまして!の意
をはる、完結する、了る
懇願する、ねがふ

一チイ哇騎、祇、岐、旗、起、豈、訖、乞

心 <small>(シマ)</small>	格 <small>(コ)</small>	味 <small>(ウ)</small>	氣 <small>(キ)</small>	明 <small>(メイ)</small>	旋 <small>(セン)</small>	齒 <small>(チ)</small>	事 <small>(ジ)</small>	啓 <small>(キ)</small>	崎 <small>(キ)</small>	迄 <small>(チ)</small>
瘋 <small>(フ)</small>	心 <small>(シン)</small>	星 <small>(シ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>	瘋 <small>(フ)</small>
ヒスナリ、氣鬱症	品格、氣品	にほひ、風味	空氣、氣息、にほひ	あけのみやうじやう(星)	抜錨する(船が)	申上る、口を開く、語り出す	用向を申す、用向を言ふ	申上る、言ひ出す	小高き山、丘	到る、今迄、又音シ上聲
恨 <small>(ヘ)</small>	貌 <small>(マオ)</small>	喘 <small>(チ)</small>	結 <small>(キ)</small>	枕 <small>(チ)</small>	性 <small>(シ)</small>	血 <small>(シ)</small>	像 <small>(シ)</small>	色 <small>(シ)</small>	死 <small>(シ)</small>	死 <small>(シ)</small>
病 <small>(ビ)</small>	病 <small>(ビ)</small>	病 <small>(ビ)</small>	病 <small>(ビ)</small>	頭 <small>(トウ)</small>	頭 <small>(トウ)</small>	頭 <small>(トウ)</small>	象 <small>(ゾウ)</small>	象 <small>(ゾウ)</small>	人 <small>(ジン)</small>	人 <small>(ジン)</small>
うらむ、にくむ	やうす、ありさま	腎虛する病	氣のむすばれる、鬱結する	空氣枕	腹立ち易き、怒り易き	血氣、元氣	景況、狀況、ありさま	かほいろ、けしき	死ね程立腹する、嚇怒	極端に人を腹立たせること

契 <small>(チ)</small>	行 <small>(コウ)</small>	道 <small>(ドウ)</small>	世 <small>(セ)</small>	嫌 <small>(ケン)</small>	棄 <small>(キ)</small>	使 <small>(シ)</small>	派 <small>(ハイ)</small>	不 <small>(フ)</small>	怨 <small>(エン)</small>
契 <small>(チ)</small>	行 <small>(コウ)</small>	道 <small>(ドウ)</small>	世 <small>(セ)</small>	嫌 <small>(ケン)</small>	棄 <small>(キ)</small>	使 <small>(シ)</small>	派 <small>(ハイ)</small>	不 <small>(フ)</small>	怨 <small>(エン)</small>
契る、證券(土地建物などの)	營業を變へる、商賣換する	墮落する	死する、逝去する	すてる、見すてる	すつる、不用とする、なげる	器物、什器類の總稱	用ふる、つかふ	器量、きりやう、器具	風采、やうす
口 <small>(コウ)</small>	家 <small>(カ)</small>	企 <small>(キ)</small>	砌 <small>(キ)</small>	屬 <small>(ジュ)</small>	戚 <small>(シ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>
口 <small>(コウ)</small>	家 <small>(カ)</small>	企 <small>(キ)</small>	砌 <small>(キ)</small>	屬 <small>(ジュ)</small>	戚 <small>(シ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>	泣 <small>(キ)</small>
家族、家人	家庭、家人	企つる、企圖する	壁屏などをたゝみ築く	同上	親族、親戚、みうち	悲哀の極なること	泣く、泣哭する	不動産の證書	證券稅

チイ迄、崎、啓、氣、器、棄、契、泣、戚、砌、企、チイア家

公コウ 父のこと、家庭の主人
 飼養する鳩、飼鳩
 生シヤン 奴婢の生みたる兒
 郷シヤン 故郷、郷里、ふるさと
 小シヤウ 家族、家人
 信シン 家庭よりの手紙
 私シ 家産、財産、私産
 當ダウ 財産、身代(しんだい)
 道ダウ 家計、家業
 常チヤン 家庭に有り合せの食事
 常チヤン 普通ありふれた話
 話ワ

眷チユア 家族、自己の家族
 慈チ 母、自己の母のこと
 丁チン 僕、めしつかひ、下僕
 猫マウ 飼猫、のら猫に對して
 邦ホウ 國家
 加カ 増加する、加へる、そへる、ふやす
 捺印する
 印イン 附加税、増税する
 科カ 加俸、増俸すること
 薪シン 打歩する(銀に)
 色ソク

平ピン 打歩する(秤口の不足を)
 利リ 辛味を加へたる料理
 夾カイ はさむ
 襖コウ あはせ上着、長き袴
 棍クワン 足を挟む刑具
 帶ダイ かくして携帯する
 磨ミ せりつく、催促する
 板パン 帆かけ船、帆船
 把バ 合せ袱紗の類
 板パン 刑具の一種
 子シ 鼻めがね
 鼻ビ

佳カイ 良き、佳良なる、美しき
 城シヤウ 墓域のこと、墓地
 嘉カ よき、みする、めでたき
 魚イ 鯛(たい)
 平ピン 十二月の異名
 傢カ 家具、什器、世帯道具
 傢カ 同上
 枷カ 刑具、首又は手足のかせ
 示シ 同上の刑具にて街上にさらす
 挾カイ はさむ、壓迫する
 制チ 掣肘する、壓制する

假 <small>チイア</small>	裕 <small>チイア</small> (衣)	頰 <small>チイア</small> (鬚)	袈 <small>チイア</small> (袈)	陰 <small>エマ</small>	扣 <small>ツク</small> 押 <small>ア</small>	山 <small>シア</small> ス	使 <small>シ</small>	粧 <small>チエアン</small> 粧 <small>ツオアン</small>	纂 <small>ツオアン</small>	話 <small>ホワ</small>
偽もの、虚なる、うそ	あはせ	ほゝ、ほゝひげ	僧侶のけさ	半晴半曇	假差押	つき山	若し…：せしむるならば	ふりする、偽りて粧ふ	にせ髪、かつら髪、	うそ、虚言

實 <small>シ</small>	硬 <small>イン</small>	價 <small>チイア</small>	嫁 <small>チイア</small>	喇 <small>ラ</small>	子 <small>ツ</small>	如 <small>ル</small>	母 <small>ム</small>	花 <small>ホワ</small> 翎 <small>リン</small>	甲 <small>チイア</small>	一	一	一
掛値せざる正しき價	正價、實價、割引又は掛値たき價	價格、あたひ、ねだん	嫁入道具、婦人の手箱	嫁する、よめ入りすること	滿洲語「部隊」の音譯	嫁する、よめ入りすること	甲乙の、かぶと、甲羅、とし	たへば、例せば	まゝ母	局外に居て他人の事を立腹すること	花翎	翎

馬 <small>マ</small>	崩 <small>ボウ</small>	駕 <small>チイア</small>	子 <small>ツ</small>	式 <small>シ</small>	不 <small>フ</small>	弄 <small>ノウ</small>	架 <small>チイア</small>	錢 <small>チイア</small>	例 <small>リ</small>
鞍皮(乗馬用の)	天子の崩すること	天子の乗物	かご、天子の乗物	外見をかざる、見えばる	みかけ、ありさま、外見	支へきれざる、がまんの出来ざる	だます、せんとりする	あること	たな、さゝへる
料金の定め、料金規定	價格、ねだん	あやふやの價、割引又は掛値							

巧 <small>チイア</small>	當 <small>ダン</small>	恰 <small>チイア</small>	花 <small>ホワ</small>	算 <small>ソワ</small>	死 <small>ス</small>	指 <small>チイア</small>	房 <small>フアン</small>	路 <small>ル</small>	卡 <small>チイア</small> (子)	莢 <small>チイア</small> (莢)
同上	丁度都合よきこと	恰當なる、丁度よき	花を摘む	指折りかぞへる	かみ殺す(犬が猫などを)	指折りかぞへる、つゝつく	税局の設けある道	同上	支那内地通過税局	藥草の名

交(チイアオ) 交はる、交付する、わたす
 椅(イ) 床几
 印(イン) 事務の引継ぎする
 午(ウ) 午前十一時頃、正午近く
 租(ゾ) 交付する、わたす
 課(コ) 納税する、租税を交付する
 鎖(ソ) 錠をかける
 手(シュ) 受渡する
 收(シウ) 受渡しする
 卸(シエ) 任務の引継ぎする
 代(ダイ) 交代する、代へる、とりかへる

價(チイア) 價を交付する
 界(チイ) 境界、さかい
 清(チン) 交付済み、全部を交付する
 更(チン) 時の代り日に打つ鐘
 通(ト) 北京交通銀行の兌換券
 盤(パン) 交代する、代る
 足(ツ) 不足なく十分に交付する
 僑(キウ) 品を引渡す
 嘴(ツイ) 争論する、又北京に流行する
 託(ト) 小鳥の名
 連(リ) 委託する、たのむ
 蝶(テ) 蝶つがひ

往(ワン) 交際する、往來する、懇意にする
 嬌(キウ) 美しき、やはらかなる、あまへる
 兒(アル) あまやかしたる小供
 客(コ) 珍客、大切の客
 子(ツ) 甘やかして育てたる小兒
 女(ニ) 美人のこと
 嫩(ネ) かよわき、やわらかき
 澆(キウ) 水をそそぎかける
 瓢(ピウ) 水を蒔く瓢箪の皮
 水(シュ) ポンプのホース
 帶(ダイ) 山椒胡椒の類、辛味
 椒(チイアオ) 山椒胡椒の類、辛味

驕(キウ) おごる、驕慢なる傲慢なる
 傲(オウ) にかわ、ねばりつくこと
 車(チ) ゴム輪の車
 版(パン) セラチン版
 皮(ヒ) ゴム輪の車(鐵輪に對して)
 焦(キウ) 焦がす、焦げる、あせる
 炭(タン) コークスの類
 脆(ツイ) 非常にもろき、さく／＼せる、齒切のよき
 蕉(キウ) 芭蕉
 嚙(チイアオ) 争論を好む、口論する
 嚼(チイアオ) かむ(齒にて)

二チイアオ 交、嬌、澆、椒、驕、膠、焦、蕉、嚙、嚼

過	不	用	脚	跟	下	心	錢	掌	雞	
コト	フ	ヨウ	シヤク	ケン	ゲ	シン	チン	チヤン	チ	
過	不	用	脚	跟	下	心	錢	掌	雞	
生活費、其日の暮し	かみきれぬ(硬くて)	生活費用	あし	くるぶし(足の)	かゝと	目下、今、足元	土ふまず、足裏の中心	運賃(人足の)	足の裏	魚の目(足に出来る)

尖	價	船	程	板	行	機	踏	轆	牙	驢	
チン	チヤ	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	チン	
尖	價	船	程	板	行	機	踏	轆	牙	驢	
足の爪先、足先	人足の運賃、運び賃	はしけ舟	歩行の程度、旅行	足のうら	市	兒	運搬屋、運送店	足を乗せ置く小臺	足にて廻す水車、自轉車	ひかゞみ	運送屋、回漕問屋

攪	混	鬧	勻	狡	絞	監	勦	僥	疾	鉸
カウ	コン	ナウ	ユウ	カウ	カウ	カン	カウ	カウ	カウ	カウ
攪	混	鬧	勻	狡	絞	監	勦	僥	疾	鉸
攪拌する、かきまぜる	まぜる、まぜつかへす	まぜつかへす、さはがす	よくかきまぜる、むらなくまぜる	だます、あざむく	しぼる、絞罪に處すること	絞罪に處せらる既決囚	勦滅する、退治する	ぎやうかう、まぐれあたり	コレラの類	はさみ切る、着物をはさみきる

餃	角	口	門	織	齊	交	清	足	還	換
カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ	カウ
餃	角	口	門	織	齊	交	清	足	還	換
肉餛飩の一種	かど、すみ、つの又音チユエ陽平	口論する	くゞり門、小門	受取る、納付する、受入る、	拂込濟、納付濟	渡す、交付する	納付濟、全部受入る、	全部納付する	受取りて又戻す	返してとりかへる

(手)アオ脚、攪、狡、絞、僥、疾、鉸、角、織

矯^{チイアオ} | 同^{ホウイ} | 飾^シ | 情^{チン} | 案^{アヌ} | 習^{シイ} | 民^{ミン} | 友^{ユウ} | 叫^{チイアオ} | 醒^{シン}

とり戻す、受かへす
 ためる、矯正する
 めかす、かざりたてる、虚飾
 不自然のことをする（情をためて）
 教え、教ゆる、又陰平
 耶蘇教徒と普通民との問着
 教師、講師、先生
 耶蘇教信者のこと
 信者仲間（キリスト教の）
 呼ぶ、叫ぶ、せしむる
 よびおこす（睡れる者を）

局^{チイ} | 行^{ハオ} | 貨^ホ | 白^{パイ} | 賣^{マイ} | 門^{メン} | 驢^{リュ} | 轎^{チイアオ} | 園^{ウイ} | 班^{バン}

局子^{チイ}
 藝妓などを呼び招く、賭場の
 手入れ（警察から）
 藝妓などを料理店へ呼ぶこと
 せり賣店、呼賣店
 競賣品
 方言、間違ひたる發音
 せり賣する、呼賣する
 門扉に訪問する、おとなふ
 化驢（をんならば）
 かご（支那の乗車）
 かごの周圍をいふ
 かごかき、轎夫、輿夫

較^{チイ} | 數^{シュ} | 對^{ドイ} | 比^ビ | 校^{チイアオ} | 醜^{チイアオ} | 窖^{チイアオ} | 冰^{ビン} | 醉^{チイアオ} | 覺^{チイアオ} | 敲^{チイアオ}

比較する、くらべる
 加法の和（算術の語）
 くらべる、比較する
 同上
 校正する、又音（シイアオ）
 婦人の再嫁すること
 穴ぐら、土中の倉庫
 氷を穴蔵に貯蔵すること
 醉母（もと）
 睡眠よりさめる、覺醒する
 たたく、打つ（いろ／＼のものを）

蹠^{チイ} | 脚^{キョウ} | 鞦韆^{チイアオ} | 着^{チョウ} | 標^{ヒョウ} | 邊^{ベン} | 照^{チイアオ} | 客^{キョク} | 香^{シヤン} | 的^{テキ} | 病^{ビョウ} | 不^フ | 見^{ケン} | 不^フ | 起^キ

足を十字形に組合せる
 すき、シヨベルの類
 足の不均にてがたつく、
 不均にてがた／＼する（テ
 ーブルの足などが）
 へりを縫ふ、へりとりする
 見る、見分する、見分ける、
 鑑別する
 客に面會する、客にあふこと
 まじなひ（巫女などが）する
 巫女（みこ）
 病氣の見舞をすること
 見えない、わからない
 輕蔑する、かるんずる

不^ブ透^{トウ} 看破し得ざる、鑑別の不徹底なることをいふ
 橋^{キョウ} はし
 橋の穹窿部
 橋の袖、橋の兩杖
 橋の裏(杙)
 「橋里」に同じ、橋臺の穴
 橋臺、橋桁
 橋の上部(渡り歩く部分)
 高き、ま、白なること
 そば
 きこり、山がっ

翹^{キョウ}(工^{コウ}) 芝居の所作事
 橋^{キョウ} 居留する、本國を離れて出稼し其地に止まること
 工^{コウ} 海外出稼人のこと
 巧^{キョウ} 巧妙なる、上手なる、丁度よき
 機^キ 好機會、最上の機
 支^シ 人をだまして使ふ
 雀^{セキ} みそさゞえ
 兒^ニ 適當なる力量
 了^{リョウ} 七月の異名
 雀角^{セキカク} 丁度よく、折よく、恰かもよしすゞめ、口論する

舌^{シヤク} 茶の名(銘茶)
 瞶^{モク} とり目(夜中は見えず)
 鵠^{コク} 満洲婦人の漢人に嫁したる時に結ぶ髻の名
 不^ブ聲^{シヤウ} ひそかに、こつそり、こそく
 俏^{キョウ} 的^{テキ} 極めてひそかにの意
 俏^{キョウ} 美しき、きれいなる
 生^{シヤウ} 的^{テキ} 秀麗なる、生々したる
 貨^カ 賣品の良品、良い品
 皮^ヒ 美しき、美麗なる、あでやかなる
 擣^{キョウ} こちあける(門戸などを)
 鞘^{シヤウ} さや(刀劍類の)

江^{キヤウ} 揚子江、川の大なるもの
 山^{シヤウ} 國家、國內
 省^{シヤウ} 黒龍江省のことを略して斯くいふ
 左^サ 江南、南京
 海^{ハイ} 大川、大河と海
 海^{ハイ} 上海税關
 湖^{コウ} 世間師、物しり
 南^{ナン} 揚子江以南の地、又南京一帯のこと
 疆^{キヤウ} 境界、さかい
 寄^キ 地方の重職
 豆^{トウ} 五んげん

チイアオ 熊、橋、荷、樵、魁、僑、巧、雀、鵠、俏、僑、擣、鞘

指 計 散 無 迎 爺 將 人 黃 畫 僵

就 做 客 爺 人 畫 僵
計 散 無 迎 爺 將 人 畫 僵
計 散 無 迎 爺 將 人 畫 僵
計 散 無 迎 爺 將 人 畫 僵

槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯

槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯
槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯

役 匠 園 坊 菜 醬 級 降 單 給

役 匠 園 坊 菜 醬 級 降 單 給
役 匠 園 坊 菜 醬 級 降 單 給
役 匠 園 坊 菜 醬 級 降 單 給

槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯

槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯
槍 鎗 踏 腔 纜 倅 心 話 孩 子 究 價 壽 媳 講 弁 將 纜 錯 就 錯

チイアン 僵 畫 將 談 團 獎 降 醬 匠 倅 槍 腔 鎗 槍 槍

捷 | 吧 | 報 | 手 | 切 | 竭 | 傑 | 羯 | 解
捷 | 吧 | 報 | 手 | 切 | 竭 | 傑 | 羯 | 解

祝賀の飾りをする
どもり、どもること
かつ、ちかき
勝利の知らせ、及第の報告
潔白なる、きよらかなる
便所にゆくこと、手水
おいはぎ、切盗すること
失敗する、つまづく
秀でたる氣性、豪傑風の性
牡羊(をひつじ)
護送する、解釋する、とく

開 | 交 | 差 | 子 | 悶 | 不 | 不 | 姐 | 借 | 意
開 | 交 | 差 | 子 | 悶 | 不 | 不 | 姐 | 借 | 意

とく、ときわける
護送して引渡す
護送する役目
監視人、罪囚の護送係
氣ばらしすること
解くことが出来ぬ
充分に解説し得ざる
あね、姉
姉の夫、あねむこ
借りる、又は貸す
比喩、たとひ

隔 | 尺 | 指 | 約 | 字 | 勁 | 貸 | 貸 | 光
隔 | 尺 | 指 | 約 | 字 | 勁 | 貸 | 貸 | 光

御免下さい、などいふ意の日
用挨拶語
給 借りて返さざる
遂 一切貸借せざる
勁 人の力を利用すること
借金の證書
同上
戒むる、戒め
指輪(ゆびわ)
學生を戒むる付符の一種
たちもの(食物を)すること
へだつる、間隔、又音コー陽
平

門 | 母 | 壁 | 誠 | 屈 | 芥 | 疥 | 界 | 襪
門 | 母 | 壁 | 誠 | 屈 | 芥 | 疥 | 界 | 襪

親戚の又親戚
腹ちがひなる、母のちがふ
隣家、壁となりなる
忠告する、いましむる
其時に及びて...、時節にな
れば...
かし、からしな
からし、粉がらし
かいせん、しつ、ひぜん
ひきかへる
境界、境界の標石
赤兒のおしめ

嗟(郷) 下(老) 愚にして正直なる田舎爺
 なす、なすび
 なすのへた
 且つ、其上に、しばらく
 扱ても (小説などに用ふ)
 陰曆六月の異名
 切る、切なる、切實に
 發音表示法(支那古來の)
 懇意なる、親しき
 愚物、鈍物などいふ語
 切にのぞむ、しきりに希ふこ
 と、希望の至り

怯(場) 窃(竊) 奸(奸) 妾(妾) 相(相) 細(細) 詐(詐) 監(監) 試(試) 生(生) 斃(斃)

臆病なる、場おくれすること
 ひそかに、こつそり、ぬすむ
 めつけ、てかけ
 邪なる、よこしま
 人相の奸悪らしき
 間諜、探偵
 狡猾なる、ずるき
 監督する、監視する
 試験の監督
 舊時代に於ける一種の學位稱
 號(國子監の學生)
 牢死する

姦(姦) 宥(宥) 情(情) 堅(堅) 煎(煎) 煎(炒) 渣(渣) 肩(肩) 勝(勝) 勝(勝) 背(背) 勝(勝) 子(子)

姦淫する、姦通する、かしま
 しき
 奸悪なる、譎詐
 姦通する、姦通
 堅固なる、かたき
 油にて煎る(食物を)
 油にて食物をいためること
 かた(人體の)
 交際の廣きこと
 對等に交際し得ること
 後肩、肩のうしろ
 した

尖(尖) 斗(斗) 溜(溜) 溜(溜) 間(間) 壁(壁) 或(或) 日(日) 兼(兼) 署(署)

銳利なる、きつさき
 山もりにはかりたる樹
 そつば
 的。非常に銳利なる
 艱難なる、困難なる
 一間(居室の)の、まゝ
 申しきり(室内の)
 まゝ或は...
 隔日發行の新聞紙
 兼て...、兼任、兼轄の
 兼任する

(チ)エ、嗟、茄、且、切、怯、窃、妾、(チ)エヌ、奸、監、姦、堅、煎、

箋 <small>シヤ</small>	紙 <small>チ</small>	札 <small>チヤ</small>	減 <small>ゲン</small>	筆 <small>ビ</small>	剪 <small>シヤン</small>	子 <small>ツ</small>	髮 <small>フヤ</small>	開 <small>カイ</small>	絡 <small>リョク</small>	儉 <small>ケン</small>	薄 <small>ハク</small>
紙片、書簡紙	書翰用箋、通信箋	てがみ、書信	減少する、へる、へらす	略字にて書く	鉄(はさみは)、さみ截ること	子。パリカン	はさみ截る	すり	節儉なる、つましき	吝嗇なる、けち	
省 <small>シヤク</small>	檢 <small>ケン</small>	柴 <small>チヤイ</small>	起 <small>キ</small>	簡 <small>ケン</small>	直 <small>チ</small>	慢 <small>マン</small>	放 <small>フヤン</small>	揀 <small>ケン</small>	派 <small>パイ</small>	嶺 <small>リョウ</small>	域 <small>イク</small>
儉約、つましき	しらべる、拾ふ、選る	柴(たきぎ)を拾ふ	拾ひ上げる、選り出す	簡便なる、竹簡、ゑらぶ	實際に於て、ほんとう(眞)に、全く	お疎末致しました(來客などに對して)といふ意	選任する(官吏を)	ゑらぶ(選)	官吏を選びて派遣する	曹達	

鍋 <small>カク</small>	場 <small>チヤン</small>	土 <small>ドウ</small>	泡 <small>パオ</small>	繭 <small>チヤン</small>	繭 <small>チヤン</small>	檢 <small>ケン</small>	見 <small>ケン</small>	客 <small>カク</small>	長 <small>チヤン</small>	證 <small>チヤン</small>	我 <small>ウオ</small>
曹達製造業者	曹達分を含める土地	砂土と混じたる天然曹達	内蒙古にある曹達池水面の浮遊部分	まゆ、つむぎ	しらべること	點檢すること	見ゆる、面會する、表はるゝ	顔見せをする	進歩したる	是。私が證人となる	
教 <small>キヤウ</small>	証 <small>チヤン</small>	喜 <small>シ</small>	小 <small>シヤウ</small>	笑 <small>シヤウ</small>	效 <small>キヤウ</small>	怪 <small>クワイ</small>	見 <small>ケン</small>	前 <small>チヤン</small>	情 <small>チン</small>	面 <small>ミョウ</small>	
教ゆる、教を受ける	證人、證據人	目出たき、喜ぶべき	小さき、小なる	笑はるゝ、笑ふべきこと	效力ある、效能のある	怪しまるゝ、奇とせらるゝ	面會する、あふ、對面すること	前に出づ……の意(記述の)	價格を勉強する	面會する、會見する	

子イエ又箋、減、剪、儉、檢、簡、揀、繭、檢、見

天	不	方	好	薦	書	主	舉	人	亡	箭
チエヌ	フ	ファン	オ	チエヌ	シユ	チュ	チユイ	リ	ワン	チエヌ
著	著									
〔毎日、日々、日毎にの意 面會が出来ぬこと 四角、正方形 よくなる(病氣などの) すゝめる、推舉する 推薦狀、紹介書 紹介者、推薦者 推舉する、すゝめる(人を) 推薦者、人を推薦する 供養する、追善 矢(弓の)										

眼	杆	塚	猪	翎	靶	賤	價	骨	貨	年
エ	カン	ツカ	チユ	リン	パ	チエヌ	チエヌ	ク	ホ	ニ
眼	杆	塚	猪	翎	靶	賤	價	骨	貨	年
吹山もの、小さき贈物 やがら 射塚(弓を射る場所) はりねずみ 矢羽(やばね) 的(まと) いやしき、下等なる、やすき (價の) 廉價なる、價のやすき 賤しむべき奴(罵倒する語) 下等品(人及び物品共、) 凶作の年、荒年										

内	賣	不	除	健	術	漸	漸	歎	仄	收	鑑	書	照	諫
チ	マイ	フ	シ	チ	チ	チ	チ	チ	ツ	シ	チ	シ	チ	チ
内	賣	不	除	健	術	漸	漸	歎	仄	收	鑑	書	照	諫
私の妻(といふ自謙語) 現金掛値なし、現金大安賣 健康法のこと やうやく、だんくと、追々 に、漸次に 凶歎、飢饉なること 氣がすまぬ、心に申譯なき 飢饉年のこと かんがみる、鑑別する、みわ ける 歴史を書いた書籍 御照覽被下度候の意 いさめる、諫め説く														

建	修	借	分	濺	泥	行	禮	踐	件
チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ
建	修	借	分	濺	泥	行	禮	踐	件
建つる、建立する 修繕する、築造する 借越なる、身分をわきまへず して横しまなる 同上 水又は泥などはねること 泥がはねかゝる 錢別、はなむけ(旅に出る人 の爲にする) 同上 同上の場合に於ける贈物 ふむ、足にて踏む 事々、物々									

チイエヌ 荐、箭、賤、健、漸、歎、鑑、諫、建、借、濺、踐、件

鉛ヂイェス 活字、活版
 活字、活版
 鉛筆の心
 鉛の彈丸、銃丸
 千ヂイェス 千(數の)
 貴族皇族などに対する敬稱
 他人の娘を稱する語
 貴下の護生日(敬語)
 望遠鏡、千里眼
 決して、必ずしも、斷じて
 恭謙なる、へりくだれる、丁寧なる

遷ヂイェス うつる、移轉する
 筒ヂイェス くじを入れ置く竹筒
 筒ヂイェス くじの文句をいふ
 簽ヂイェス 小紙片、署名する
 約ヂイェス 契約、約束書などに署名すること
 牽ヂイェス 引く、ひつばる
 掛コウ 引かゝる、引かける
 涉シヤ 引かゝりになる、連累となる
 頭トウ 手びきする婆(婦女などを)
 過コウ あやまち、罪過

擇ヂイェス 仲介業者のこと
 乾ヂイェス 天地、陽陰、男女又音カヌ陰平
 坤ヂイェス 婦女の耳かさりの名
 鉗ヂイェス 錢、かね、財産、富
 錢ヂイェス 錢の穴(厘錢の)
 眼エス 錢を取引する市場(支那の各地に在り)
 市シ 錢を兌換する手形
 鈔チヤウ 兩替店
 局ヂイェス 同上
 莊ヂイェス 富、財産、かね
 財チヤウ 錢入れ、金入れ、財布
 兜トウ 兒ル

舖ヂイェス 錢を賣買する店、兩替屋に似たる店
 鏤シウ 吝嗇極まる人のこと
 主ヂイェス 債權者
 申チン ぜにさし(穴あき錢をさしつなく偽の)
 帖チヤウ 銅錢の引換手形
 鏤シウ 錢表面の彫刻をいふ
 兒ル 錢形の腫物
 兒ル 税のこと、租税
 糧リヤウ まへ、以前
 前ヂイェス 前一段
 引ヂイェス 案内する、みちびく
 起ヂイェス

(子イエス鉛、千、謙、遷、籤、簽、牽、惹、擗、乾、鉗、錢、前)

失	些日子	去	者	清	敵	半	半	仰	來	兒
シ	シイ	チユイ	チヤ	ヂン	テイ	パ	パ	ヤン	ライ	ル
つまづく(前の方へのめること)	數日前といふ意、四五日以前の意	前進する、すゝみゆく	前には、先般の意	清朝のことをいふ	先鋒(軍隊の)	午前中、ひるまへ	同上	大喜びする形容	從前、從來、以前からのしき	一昨日の意、おととい

淺	顔色	意思	住	白的	門	淺	人	遣	送	散	欠
シイ	エ	イ	チ	バイ	メン	シ	リ	ヂイ	ソ	サ	ヂイ
淺き、うすき	淺色、うすいろ	簡易の意義	船が淺瀬に擱坐すること	卑近の話	家柄の相當なること	生かじりの人	遣はす、派遣する	つかはす、派出する	免職する、解職する	不足する、欠くる、缺乏する	

安	賬	資	單	戶	緯	過	手	嵌	銀	究
アン	チ	ツ	タン	ホ	ヂイ	コ	シ	ヂイ	イ	チ
病氣になること	金をかりる、勘定が不足する	未納税(郵税などの)	借用證書のこと	債務者、かりて	ひく、引つばる	ひき来る、引つばつて来る	仲立人、周旋人	嵌入する、象嵌する、はめて	銀などを象嵌する職工	究むる、究する、たづねしらべる

子イエヌ 淺、遣、欠、緯、嵌、子ウ究、咎、揪、樞、圃、酒

竟	情	治	辦	谷	揪	樞	圃	酒	窩
ヂ	ヂ	チ	パン	コ	ヂ	ヂ	ヂ	ウ	ウ
結局、畢竟、とどのつまり、つまること	追究すること	取訊べて所問する	取調べて處分すること	過失、あやまち	つかまへる、捕ふる	つかまへて来る	ひつぎ	くじ	さけ

瘋症	坊子	精吃	嘔子	失子	盅	肆	席	鬼	館
痛風(つうふう)	さかや、居酒屋	酒の粕、かす	酔へば盛んに談論する人のこ	酒の上の過失	強い酒を飲む小盃のこと	酒屋、飲食店	宴會、宴席、料理店	酒のみ、飲酒家、酔どれ	酒屋、料理店、居酒屋

九	五扣算	肉朋友	暈粧	友兒	餅	幌子	娘	令	媒
冬至以後、十一日	五分引	飲み友達(眞情より交際するものに非る)	婦人の微紅を塗ること	酒飲み友達	酒屋の軒につるす看板の一種	酒母、もと	もと(酒を醸造する)	さかもり、献酬	麴、麴のもと

菜	葦	仰	慣	已	達	聞	久	門	城	州
同上	同上	永き間の習慣となりたること	久しく高名を聞き傳へ居たりなどいふ意	久しき以前にの意	お久しぶりですなどいふ意	久しくお目にかゝりません、お久しぶりですなどいふ意	久しく、幾久しき	北京城内のこと	北京のこと	國內、全國

子ウ 九、久、葦、玖、舅、舊、白、救

生	生	應	白	救	子	樣	金	舊	舅	玖
救命帶	難破船を救ふ船をいふ	救済する	救ふ、助くる、救助すること	うす	舊式なる、昔風なる	米國カリフォルニア、桑港	古き、舊の、以前の	母の兄弟の妻	母の兄弟	玉、九に通用す

星	火	火	兵	就	許	近	地	來	秋	鹽
星	ホオ	ホオ	ビン	ジウ	シウ	ジ	チ	ライ	チウ	ミン
助けの神	蒸汽ポンプ	消防夫のこと	援軍、救援隊	直ちに、すぐに、成就する、なる	或は、といふ意	近所、手ちか	そこで、「其まゝ、則ち	すぐに來る、直ちに來る	秋、(四季の)	秋に作る鹽

毛	分	轡	鞅	鯁	丘	求	告	借	情	之	不	得
モウ	フン	ベ	キウ	キウ	キウ	キウ	カク	キョウ	ジウ	チ	フ	トク
秋にとる羊毛、あきげ	陰曆八月九日の節	くつわ(馬具)	どせう	小高き丘、小山	願ふ、嘆願する、懇請する	いのる、願ふ	借用方を懇願する	情願する、ねがう	願ふても得られざるの意	願ふことの出來ぬ		

雨	饒	囚	球	饒	局	窘	窮
アメ	ジウ	チウ	キウ	ジウ	キウ	キウ	キウ
雨乞すること	赦免を願ふこと	囚人、罪囚	窮屈でたまらぬ	たま、まゝ、一圓きもの	まり、圓きもの	こげくさき(食物の)	飯などの焦げつくこと

酸	家	不	過	他	混	回	兒	日	人	穹	瓊	樹
ソウ	カ	フ	コ	コ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	キウ	キウ	キウ
貧の甚しきこと	貧乏人、貧民	無理算段すること	彼程には貧乏せぬの意	貧樂(ひんらく)	窮餘不其の匪徒となれるもの	貧乏な生活	貧乏人、貧窮者	天、そら、青空	進士及第の賜宴	樹酌する、つぐ、酒の酌する		

(チウ 就、秋、鞅、丘、求、囚、球、饒、饒) (チウ 局、窘、窮、穹、瓊、樹) (エヌ 樹 三一)

賑(濟)	賑恤する、すくう
賑(怒)	いかる、おこる
嘖(怪)	怒る、腹を立てる、面白からず思ふ
嫌	きらう
換(長)	手にて引きのばす
開	同上
臣(下)	臣下、家來
沈(重)	おもき(量目の)
香	山東蘭の一種(黄ばみたる)
顛	づつしりと重みある
迷	迷ひこむ、深く迷ふこと

陳	古き陳腐なる、のぶる
言	陳腐の言
子	金柑、橙(だいご)
病	持病、舊病、古い病
布	排列する、陳列する
糧	古き穀物
塵(頭)	ちり、ごみ、ほこり
果	世俗の信果、俗務
晨	あした、あさ、早朝
星	朝方の星、曉の星
報	朝刊新聞のこと(夕刊に對して)

辰(時)	午前七時より九時迄の間
月	三月の異名
的	見苦しき、みにくき
憐(的)	機會を利用する
趁(風)	暇を利用して、暇に乗じて
願	願出りになつた、良い氣味といふ意
衣	シャツ、下着、肌着
紙	書籍の巻首巻尾の白紙
遮(掩)	さへぎる、かくす
羞	てれかくし、寸志(贈物のとくに)
蓋	つくらふ、おまひかくす

過(去)	面目を立てる
整(手)	蟲がさす、手をさす
折	折る、差引する、割引する
算	割引する、さしひく、ひきおとす
扣	同上
壽	夭折(わかじに)する
賬	差引勘定する
中	折半する、山分け
尺	たゞみ尺
罪	功によりて罪を減ずる
兌	割引して賣る、割引して現金にする

チエヌ賑、賑、嘖、換、臣、沈、陳、塵、晨、辰、珍、趁、襯、チ才遮、蓋、折 三一五

頭	本	賣	摺	這	一	些	陣	件	句	
トウ	ヘン	マイ	チ	チ	一	シ	チ	チ	チ	
頭	本	賣	摺	這	一	些	陣	件	句	
割引高	資金をすする、もとでをへらす	金にかへる、割引して賣る	紙などを折たゝむ、折本	證書、通帳(折本式の)	この、これ	この頃、近頃	これだけ、これ程、この位	このほど、この頃	この事、この事件	この話、この物語

種	早	宗	等	會	般	邊	麼	們	樣	裏	
チ	ツ	フ	ト	ホ	バ	ビ	マ	メ	ヤ	リ	
種	早	宗	等	會	般	邊	麼	們	樣	裏	
此種、此類、此様なる	この頃、近き頃	この類、この手、この口	これ等、こんな	この時、この頃、この折	此くのごとき、かゝる、こんな	このあたり、このへん、こちら	こんな、此やうなる、此の如き	同上、北京の俗語	かゝる、このやうな、こんな	この種の	こゝ、こちら、當方

兒	園	弓	仗	帳	廠	價	脚	捐	份	
ル	ウ	コ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	フ	
兒	園	弓	仗	帳	廠	價	脚	捐	份	
同上	くるま	車の周圍をいふ	車の屋根	車夫、車によりて生活する者	車の垂れ布、車のまく	車の置場	車賃、乗車賃	車の運賃(荷物などの)	車税	車の借賃 はだい

把	票	擲	手	舌	上	腺	起	説	不	
バ	ビ	チ	シ	シ	シ	シ	チ	ホ	フ	
把	票	擲	手	舌	上	腺	起	説	不	
車夫の親方	乗車券	一輪車の肩紐	ひく、手にてひつばる	たづな(馬に乗る時の)	虚言を吐く、出鱈目をいふ	引あげる、引張りあげる	恥をかゝせる はちをかく	引き出す、引張る	虚言を吐く、うそをいふ	引張られない、引き得ざる(重くて又は力足らずして)

撤	開	銷	差	防	製	征	收	争	些	訟
撤去する、撤回する、やめる、廢す	除く、撤去する、やむる	取消す、やめにする	官職を廢す、職をやめにする	防備をやめる（平和に復したる爲）	くちをひくこと	征する、徴收する、とる	税金などをとり入ること	あらそふ、競争する	ほとんど、既の事に	争論して訴訟する

食	氣	價	風	吵	嘴	睜	徵	驗	調	蒸
ぼんのくぼ	勝氣、負きらひ	價の交渉する	嫉妬喧嘩	口にてがや／＼とやかましくしやべりあふこと	口論する、口あらそひする	目をひらく、目を見はる	徴收する、しらべる、てうする	證據によりてしらぶる、證據立てる	兵士などを徵募する	むす、蒸汽にてむす

熱	屨	征	整	顏	車	賣	齊	話	天	年
むしあつき	ぼんやりと、呆然として	丁度（過不足なく）、整然と	まじめな額付、正しき額	貨切車	卸賣する、一口にまとめて賣ること	齊然たる、きつぱりとしたる、そろへたる、とよのへたる	纏ままりたる話（雜談に對し）	まじめな談話	一日中、まる一日	一中、まる一ケ年

手(才)撤、掣、チオン征、争、睜、徵、蒸、征、整、正

的	印	課	格	款	奶	色	太	罪	所
満足なもの（毀れものキズ物などに對して）	正しき、丁度	責任ある長官	正税（附加税に對して）	正當の格式	正額、原金（附屬に非ず）	正妻、本妻	五原色	正妻、本妻	主たる罪

問 項 法 經 好 宗 堂 症 政 家 團

正面の室、上段の室
主要の金額又は経費
法律によつて處分する
正しき、まじめなる
丁度良き、恰かもよし
正しき、標準とすべき
長官、責任者たる官吏
病氣の症候、病の様子
政治、まつりごと
政治家、爲政者
政黨

証 掙 稱 兄 命 錢 見 任 合 呼 壞

證(證) 證する、證據、明
證明する
かせぐ、かせぎて金を得る
金をかせぐ(正しき業にて)
一生懸命に、命がけに
稱する、よびなす
弟(呼捨てにする 親密の間
上。 似合はぬ
適任なる、はまり役なる
よび名、あざ名(字
腹の張る、満腹などにて

呈 認 送 詞 報 承 應 問 管 情 包

(下より上へ差出す文書の種類)
(上申書の類)
訴訟する、うったへる
差送る、差上げる 文書を)
訴訟状、告訴状
報告する、報告書
うくる、承引する
引うける、承諾する
問をうくる、問ひにあづかる
引受けて管理する、引うけて
取扱ふこと
厚情を受くる
受負ふ、引うける

子(オン症、政、證、掙、稱、隣、呈、承、丞、成

典 佃 租 辦 認 攪 領 丞 成 文 色

質にとる、質を引受くる
土地の耕作を引受くる
不動産を借入る
引うけて取扱ふ
自認する、白状する
受負する、引受くる
引受くる、受けあふ
補佐官、事務官
宜し、可なり、成る、できる
纏まりたる(金銭など)
質(物の)、ちしつ

訟	家	全	親	様	丁	日	了	例	城
訴訟する	結婚する、嫁を娶る	顔を立てる、纏める	結婚する、嫁をとる	法に叶ひたる	丁年、成人する	一日中、終日	纏まる 澤山に)	成文の法例、又確たる習慣例	城地、城壁 都邑
								城門の一部分	

根	池	脚	隍	誠	盛	飯	不	乘	程
城壁の附近一帯をいふ	城ある都邑のこと	城根に同じ、城の麓	土地に功ありたる人を祀りたる廟	誠に其通りなる、實に然りもる、山盛りにする又音シ(オン)去聲	飯を盛る、食物を取分る	盛りかたが平らかであらぬ	乗る、乗ずる	車に乗る時の台石	道程、程度

儀	序	子	懲	選	能	子	杆	杆	星
せんべつ(旅行に贈る)	順序、次第	時間、あひだ、日子	こらす、處罰する	處分する、處罰する	たくましようする、心の儘にする、自分勝手に振舞ふ	能者ぶる、自分勝手に振舞ふ	はかり	秤竿(はかりざぼ)	秤のかぎ
									秤目、めもり

砵	砵	紅	子	肉	窩	砂	批	諸
秤の分銅、ふんどう	子。だんご鼻	あか色、しゆ	たま(各種の珠)	豚、豚肉	豚小屋、豚飼場所	同上	朱に同じ	桐油を塗りたる春聯用紙
								朱筆にて指命する
								各位、諸君、みなさん

チオン、城、誠、盛、乘、程、懲、選、秤、チユ朱、珠、猪、諸

株	守	累	連	蔓	根	孫	鷄	色
株	守	累	連	蔓	根	孫	鷄	色
かぶ、株守する	守る、舊來のままに守る	卷添にする、連累者にする	同上	同上	くも(虫)	たけ	水淺黄色	竹林の茸、小さき茸の一種
					しぎ(鴨)	竹筥(たけへら)		

布	米	篋	壇	燭	主	意	願	考	使	守
布	米	篋	壇	燭	主	意	願	考	使	守
リンネルの類	竹の實	あんべら、竹にて編みたる蓆	築く、壇を築く	燭燭のもえ残り之心	あるじ、主人	意見、かんがへ	とくろ、花客(商店の)	試験委員長	主犯、主として動く者	守る、守備する

僧	子	母	囑	煮	住	下	局	船	嘴	地
僧	子	母	囑	煮	住	下	局	船	嘴	地
住持、寺院の住職	主人公、皇帝、支配者	妾の正妻を呼ぶ稱	たのむ、いひつける、囑する	煮る、よくにる、にたじらす	住居する、泊る、止る、やすむ	とまる、宿泊する	妓樓に泊ること(客が)	停船する、碇泊する	口をやめる(食事又は談話の)	兒、奉公する

店	不	忙	子	頂	註	冊	銷	禁	防	貯
店	不	忙	子	頂	註	冊	銷	禁	防	貯
宿屋にとまる、旅店に泊る	住居きれぬ(人数が多くてなど)	たすける、手助けする	はしら(建物の)	柱の台石	註釋、註解、註する	登録する	取消する、抹消する	註割する、とどまる、滞在する	常駐する	駐屯して守備する
										貯へる、貯蔵する、ためる

チユ株、株、竹、築、燭、主、囑、煮、住、助、柱、註、駐、貯

祝 <small>チユ</small>	鑄 <small>チユ</small>	出 <small>チユ</small>	口 <small>コウ</small>	恭 <small>コウ</small>	閣 <small>カク</small>	格 <small>カク</small>	款 <small>クワン</small>	軌 <small>コウ</small>	示 <small>シ</small>	手 <small>ショウ</small>
(告)	(印局)									
いのる(神佛に)	鑄造する、印刷局	出る、出す	輸出する、港を出る	用便すること(大小便を)	嫁入りすること	格外なる、特別なる	支出(經費など)	脱線すること	告示又は布令などを出すこと	衣服のゆき

手 <small>ショウ</small>	息 <small>シ</small>	首 <small>シヨウ</small>	色 <small>ソク</small>	學 <small>シウ</small>	杖 <small>チウ</small>	奇 <small>キ</small>	處 <small>チ</small>	缺 <small>キエ</small>	妻 <small>サイ</small>	租 <small>ソウ</small>
貨 <small>カオ</small>		人 <small>リ</small>			(分)				見 <small>ミ</small>	子 <small>シ</small>
賣口のよき品	利子を生ずる、利がつく	發起人、首唱者	出色なる、特に傑出したる	退學する	故障の出る意外の出来事	珍らしき、珍奇なる	由來、出處	缺員の出来ること、辭職する	極めて親密なる間柄	貸出す(土地建物などを)

租 <small>ソウ</small>	典 <small>テン</small>	天 <small>テン</small>	頭 <small>トウ</small>	土 <small>ツ</small>	分 <small>フン</small>	風 <small>フウ</small>	凡 <small>ファン</small>	貨 <small>カオ</small>	榜 <small>ボウ</small>	票 <small>ピョウ</small>
帖 <small>テツ</small>	花 <small>カ</small>	的 <small>テツ</small>	子 <small>シ</small>	頭 <small>トウ</small>				單 <small>タン</small>	人 <small>リ</small>	人 <small>リ</small>
質入証書	質に入れる	痘瘡が出る	告訴人、卓出したる	土中より發掘したるもの	現金を贈る(知人の吉凶などに際して)	出しゃばる、自家廣告する	非凡なる	船荷證券	發表する(及第者の名を)	手形振出人

聘 <small>テイ</small>	撥 <small>ハツ</small>	殯 <small>イン</small>	名 <small>メイ</small>	門 <small>メン</small>	馬 <small>バ</small>	賃 <small>チン</small>	了 <small>リョウ</small>	洋 <small>ヤウ</small>	外 <small>ガイ</small>	初 <small>チユ</small>
子 <small>シ</small>					岡 <small>カン</small>					
嫁ぐ、嫁入りする	蒙古内地へ買出しにゆく商人	出棺する(葬儀に)	有名なる、著名なる	外出すること	往診する(醫師が)	貸貸しすること(凡ての物を)	子。故障が出る	海外に行く、渡航する	外國へ行く、外出する	初め、最初

辦	員	利	磚	煙	城	窑	瓦	轉	限	商
專門に取扱ふ	係員、取扱者	專賣する	煉瓦、れんぐわ	粗悪の煙草を堅めたるもの	粗製曹達	煉瓦を焼くかま	煉瓦類の總稱	轉ずる、かわる、まるばす	日延する、延期する	仲介者により相談する

交	知	眼	車	軸	轉	典	貼	年	風	包
取次いで交付する、とりついでわたす	又通知する、取次いで知らす	振替へる(金錢を)	汽車の乗かへ	心の變り易き	つぶれた額を立てなほす	又質にする、再質	手形の再割引する	來年、翌年、次の年	風がかはる	下請負する、又請負する

面	磨	篆	撰	聽	錢	頭	饌	傳	川
面目をとりかへす	どうくめぐり	てん字、てん書	文章を作る、選文する	もうける、得る	金もうけをする	もうけ、所得	骨折損のくたびれ備け	食物、美味なる食膳	左傳の、又陽平有氣音

資	土	丸	衣	孝	上	戴	店	換	門
旅費、旅行の費用	四川省産の粗製阿片	豚肉を丸めて煮た汁もの	着る(衣服を)、はく(靴などを)、うがつ	姿見鏡	喪服をつけること	着る、はく	衣装、着ること、冠ること	宿屋へ行商することをいふ	ぐるになる

チユアヌ 磚、轉、篆、撰、聽、饌、傳、川、穿

船	澳	塢	家	破	行	戸	篷	傳	出	去
ふね、船の總稱	ドック(船渠)	同	船頭、船員	底 一升徳利ころんでも三合	廻漕店、船問屋	せんどろ、船員	帆(ほ)	傳へる、召喚する、喚出す	しやべり散らす	言ひふらす
單	票	人	喘	串	供	錢	票	鈴	釧	装
召喚、拘引狀	呼出狀、さしがみ	人を召喚する	あへぐ、せきこむ	さしつらぬく、くし	一緒に申合せて申立つる	錢をさしにさすこと	税金の受領証	つなぎ鈴(臚の首などにかけ るもの)	婦人の裝飾品	装ふ、積込む、裝填する、つ

櫃	修	設	槍	漢	滿	運	莊	稼	稼	戸
賣、勘定をする	かざりつけ、裝飾	取つける、据付ける	銃の裝填、銃をこめる	かざり、こしらへ	一ぱいにつめる	船車に積みて運搬する	村落、むら、みなか	農作物、農産品	農夫、ひやくしやう	同上
粧	假	益	病	奘	實	狀	詞	撞	碰	見
よそをふ、ふりする	虚偽してよそをふ	化粧箱、婦人の必要具	病氣のふりする、假病	大きやかなる、太き	じやうぶなる、かたき	訴訟狀、告訴狀	同上	つきあたる、衝突する	ぶつつかる、つきあたる	突然に會ふ

チュアヌ船、傳、喘、串、銅、チュアン裝、莊、狀、奘、壯、狀、撞

帳	席	韓	床	瘡	友	兄	眼	窓	騙
子			口	疤	弟		戸		
寝台の幕			出来物の口	腫物、できもの、かさ	同上	同窓の親友をいふ	空気ぬき穴(室の)	まど	かたりにあふ、だまされる

停	間	奇	商	心	官	居	創	婚	死	闖
							興	作		
主人のこと	仲立する、中間に介在する	奇貨とする	店を構へて商賣する事	心ざま、心のありさま、心底	官吏になる、官途に就ける	居る、住居する、寄留する	発明する、創案する、はじめ居る	相性の適否をトせず結婚すること	けころす(足にて)	闖入する、亂入する、とびこむ

拘	泥	全	駒	局	式	縮	氣
束			子				
拘束する、自由をおさへる	拘泥する、遠慮する(客となりて)	ねぢけたる性質、融通のきかぬ性質	供に、一しよに、同じく	凡て完全に取揃へるの意	こま、馬の子	光陰、月日	局所、事務所、役場

面	橋	包	皮	菊	花	月	鞠	舉	薦	人
	子				青		(弱)			
外見、ていさい、やうす、みかん	みかんの皮	外交文書(國際間の)	きく、菊花	胡麻鹽色	九月の別名	まり、腰を屈めて會釋する	上へあぐる、推舉する、こぞる	推薦する	人を推薦する	

チユアン窓、瘡、床、闖、創、チユイ居、拘、俱、駒、局、橋、菊、鞠、舉、三三五

詎^{チユイ} | 據^{チユイ} | 懼^{チユイ} | 拒^{チユイ} | 聚^{チユイ} | 開^{カイ} | 鋸^{チユイ}
(意) | 實^シ | 内^{ナイ} | (怕) | 土^{ドウ} | (會) | 末^{メイ} | 開^{カイ}

のこぎり、鋸にてひききる
ひききる(のこぎりにて)
鋸屑(おがくづ)
あつまる、あつむる、會合
拒む、さからう、ふせぐ
阿片禁絶期成會
おそるゝ、恐ろしき
妻を憚かる、嫌ア天下
よりどころ、依據する
實際は、實際に徴せば
何ぞ思はんや、豈料らんや

句^{チユイ} | 矩^{チユイ} | 遽^{チユイ} | 巨^{チユイ} | 案^{アン} | 款^{クワン} | 口^{コウ} | 室^{シツ} | 子^ツ | 具^{チユイ} | 結^{ケツ}
(段) | (模) | (然) | 案^{アン} | 款^{クワン} | 口^{コウ} | 室^{シツ} | 子^ツ | 具^{チユイ} | 結^{ケツ}

句のきれ目(文章の)
規模、しかけ
にはかに、突然に
巨大なる、大きやかなる、重大
大事件、重大なる事件
巨額の金、多額の金圓
ほら、誇大
貴紳、富豪
大立物、主要なる人
具する、そなふる
終結する、結了する

呈^{チン} | 稟^{リン} | 報^{ホウ} | 曲^{チユイ} | 蟻^シ | 巷^{シヤン} | 子^ツ | 調^{テウ} | 本^{ホン} | 彎^{ワン}

呈出す、文書を差出す
保證狀を作製する、引受書をつくる
申上ぐる、具申する
報告する
曲、まがる、まがりたる、唄
みみず
路次、細き町、裏通り
うた、歌謡
同上
院本、歌曲本
まがりくねりたる

屈^{チユイ} | 死^シ | 伸^{シン} | 尊^{ソン} | 枉^{ワン} | 蛆^{チュ} | 蛆^{チュ} | 子^ツ | 麴^{キョク} | 軀^{キウ} | 曲^{チユイ} | 渠^{チユイ}
(溝) | (欸) | (織) | 子^ツ | 麴^{キョク} | 軀^{キウ} | 曲^{チユイ} | 渠^{チユイ}

屈する、残念がる
無實の死に方、不平を抱きて死する
みみず(蚯蚓)
御迷惑ながら
むじつ、壓迫による不平
ころろぎ
うじむし、糞蛆
ゆく、おもむく、きりぎりす
からだ、身體
ひかゞみ(足の)
みぞ、水を流す堀、下水

ニユイ鋸、聚、拒、懼、據、詎、句、矩、遽、巨、具、曲、屈、蛆、麴、軀、渠、渠、渠
三三七

娶(親)	取	案	笑	齊	巧	錢	燈	條	次	名
めとる、よめをとる	取る、取入る	優等の成績にて及第する	笑はるゝ、笑ものになる	集まりとゝのふ、そろへる	旨い汁を飲む	金をとる、命錢を受取る	マツチ	預金拂戻請求書	順序を以て進むこと	名をつける、命名する
去	官	信	世	使	向	項	軍	趣	你的	軍
樂む、快樂	ゆく、去る、つかはす、除く、とりのける	辭任する(官職より)	手紙をやる、書信を送る	死去する、逝去する	使者をつかはす、使をやる	行先、去就	販路、はけ口	お前はいつてしまへ!	趣味、面白味、面白きはなし	軍隊

民	君	子	均	攤	齊	俊	士	俏	郡	主
軍治と民政、軍人と庶民	君主、きみ	小便無用、塵芥捨つべからずなど云ふ句	均しく、平均に、平均する	均分して割あてること	均しくそろへとゝのふ	美しき、立派なる	美男子、立派な男	美しき、立派の	國內の古稱	内親王
竣	駿	群	裙	折	振	既	決	覺		
おはる、しまう	駿馬、良き馬	群集、むれ	人類、社會	もすそ、婦人の禮裝	婦人のこと	折る、折るゝ、挫く	口を尖らせること	決する、決定する、決して、斷じて	決定する	おぼゆる、感覺すること

チユイ娶、取、去、趣、チユイ又軍、君、均、俊、郡、竣、駿、群、裙、主、決、覺